標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル

（通称：生活歯援プログラム）

Web 版

活用事業実施の手引き

平成 26 年 12 月

日本歯科医師会

本手引きご利用の方々へ

はじめに

現在、わが国では、健康日本 21 や特定健診・特定保健指導に代表されるように、その人の健康に関わる生活習慣や環境を改善して生活習慣病等の疾病の一次予防を図ることを重視した保健政策が実施されています。

また、健康の概念も、単に疾病の有無だけでなく、その人の日常生活の機能に着目した評価が重視されるようになってきています。

そうした健康をめぐる概念の変化に対応するよう、日本歯科医師会ではこれまでのような疾患の早期発見・早期治療を目的とした二次予防から、歯科疾患をもたらすリスクへの対処を目的とした一次予防に寄与するための、保健指導を重視した新しい成人歯科健診プログラムの開発に取り組んできました。その成果として平成 21 年 7 月、日本歯科医師会ホームページ上に公表されたのが生活歯援プログラム（標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル）です。

日本歯科医師会は本プログラムを公表後、その理解、普及を目的に日本歯科医師会及び都道府県歯科医師会、日本歯科衛生士会等において研修事業、モデル事業を実施してきました。

本手引きは、平成 23 年度都道府県歯科医師会地域保健・産業保健・介護保険関係アンケート結果による全国での本プログラム活用事業の実施状況を踏まえ、更なる推進が必要であるとの認識から、これまでの事業報告等を参考に事業実施者が円滑に事業計画の立案・実施・評価をできることを目的に作成したものです。

今後は、本手引きを参考に地域、職域における事業実施をお願いいたします。

なお、本プログラム・マニュアルについては、既に PC 版が日本歯科医師会ホームページに公開されていますが、加えて、平成 26 年 12 月には、PC 上ばかりでなくタブレット等の携帯情報端末を利用する事により、事業所健診、屋外での各種イベント等においても気軽に本プログラムが利用可能となる Web 版が公開されました。

Web 版では、その目的に応じて質問項目の追加も可能となっており、よりフレキシブルに本プログラムを活用することが可能です。

但し、本プログラム・マニュアルの内容は PC 版と全く変わりないものの、PC とタブレット等の携帯情報端末との操作性の違いや、携帯情報端末を使用する際に生じる個人情報保護の観点から、その操作手順には PC 版と若干の違いがあります。詳細は Web 版取扱説明書をご参照いただき、事業所における歯科健診・歯科保健指導、各種イベント、そして歯科医院等での臨床現場において、本手引きをご活用いただければ幸いです。

＜目　　次＞

1. 生活歯援プログラムとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P.　1
1）生活歯援プログラム作成の経緯とこれまでの取り組み
2）生活歯援プログラム Web 版の特徴とその大まかな流れについて
（1）Risk Finding を目指したプログラム
（2）生活歯援プログラムの特徴
（3）生活歯援プログラムの大まかな流れ
（4）Web 版の特徴
3）成人歯科健診・保健指導プログラム Web 版取扱説明書

2. プログラムの実施手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 36
1）事業の企画立案
2）関係機関との調整・周知（事前研修会説明会含む）
3）プログラムの実施
4）事業評価

3. プログラム実施に必要な人材の育成（研修会の開催）・・・・・・・・・・・ P. 38

4. プログラムの実施に関する資料集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P. 39
1）資料－1　　：プログラム活用事業実施概要記載様式
2）資料－2－①：職域における実施プロセスに関するフローチャート（モデル例）
3）資料－2－②：プログラムへの参加案内文書
4）資料－2－③：参加者へのプログラム説明用資料（初回）
5）資料－2－④：参加者へのプログラム説明用資料（2 回目）
6）資料－2－⑤：生活歯援プログラムに関する Q&A
7）資料－2－⑥：質問紙票（紙媒体）
8）資料－3　　：プログラム活用事業実施経過記載様式
9）資料－4－①：口腔保健質問紙調査の集計結果　全体（Web 版ダウンロード資料）
10）資料－4－②：歯科健診受診後のアンケート（Web 版ダウンロード資料）
11）資料－4－③：生活歯援プログラム従事者アンケート用紙（参考様式）
12）資料－5－①：生活歯援プログラム DVD（研修会用ダイジェスト版）　※1
13）資料－5－②：生活歯援プログラム講義用 DVD　※2
14）資料－5－③：保健指導研修会（ワークショップ形式）の開催例
15）資料－5－④：ワークシート
16）資料－5－⑤：ワークシート使用の手引き
17）資料－5－⑥：シナリオ（押しつけ型の保健指導例）

※1　日本歯科医師会会員の先生でDVDをご覧になりたい方はご所属の郡市区歯科医師会もしくは都道府県歯科医師会にお問い合わせください。
会員以外の方は各都道府県歯科医師会にお問い合わせ頂くか、新潟県歯科保健協会（電話 025-283-0525）にお問い合わせください。

※2　日本歯科医師会会員の先生でDVDをご覧になりたい方はご所属の郡市区歯科医師会もしくは各都道府県歯科医師会にお問い合わせください。
会員以外の方は日本歯科医師会地域保健課（電話 03-3262-9211）にお問い合わせください。

1. 生活歯援プログラムとは

1）生活歯援プログラム作成の経緯とこれまでの取り組み

日本歯科医師会では、平成 17 年 1 月に発表された「今後の歯科健診のあり方検討会」報告書において、新しいコンセプトに基づく歯科健診の在り方として、現在行われている成人歯科健診の在り方を見直し、疾患の早期発見・早期治療（case finding）を主目的とする従来型の歯科健診から、疾患をもたらすリスク要因を探り（risk finding)、そのリスクへの対処を目指す歯科健診への転換を提唱しました。

そして、この提唱を元に、平成 18 年度より 3 年間、このコンセプトに基づく成人歯科健診「生活習慣病対策口腔保健モデル事業」として、6 都県で実施し、その結果を分析・総括した上で平成 21 年 7 月に発表されたのが、生活歯援プログラム（標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル）です。

平成 21 年度には、生活歯援プログラムの事業プロセスが円滑に遂行され、加えて本プログラムが受診者に対して有用なものであるのか、について検証することを目的として、5 都県の歯科医師会に委託し、プログラムテスト事業を実施しました。

また、本プログラムは歯科医療専門家にとっても、これまでの歯科健診とはその手順や考え方が大きく異なるため、本プログラムに対する理解を深め、保健指導に従事できる人材育成のための研修事業として、平成 22 年度に全国 7 ブロックにおいてブロック別研修会を実施するとともに、日本歯科衛生士会に協力を仰ぎ、平成 23 年度には日本歯科衛生士会ブロック研修において本プログラムに関する研修を行いました。

更に、日本歯科医師会が産業医学振興財団委託事業として実施している産業歯科医研修会においても、産業歯科医の新たな職務として平成21年度より本プログラムを研修項目に取り入れています。

一方、これまでの国の成人歯科健診に関する取り組みの動向では、平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金事業として、「成人期における歯科疾患のスクリーニング体制の構築に関する研究」が行われ、質問紙を用いた保健指導重視型の新たな歯科健診の在り方について、暫定版としての提案がなされており、同研究班が示した考え方は、質問項目に多少の差違等がみられるものの、基本的には日本歯科医師会がこれまで示してきたものと概ね一致しているものでした。

同研究班の中で示された成果は、平成 23 年度以降、健康増進法に基づく健康増進事業の在り方に関する厚生労働科学研究班「わが国の健康増進事業の現状把握とその評価および今後のあり方に関する調査研究」の歯科に関わる分担研究者に引き継がれ、生活歯援プログラムの成果を踏まえた見直し等も含め、具体化に向けた更なる検証・検討作業が行われました。

さらに、法制面の上からも、平成 24 年度国会において、「歯科口腔保健の推進に関する法律」が定められましたが、今後、健康増進事業の中に本プログラムを位置づけることにより、国民の健康寿命の延伸に大きく寄与することが望まれています。

次頁にプログラム作成の経緯とこれまでの取り組みについて、日本歯科医師会、厚生労働省、健康医療政策のそれぞれの動向を対比させた表を記載しておりますのでご参照ください。

日本歯科医師会「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」
生活歯援プログラム作成の経緯とこれまでの取り組み

	日本歯科医師会	厚生労働省	健康医療政策（法律）等
H 7 H16 H17 H18 H20	・「今後の歯科健診のあり方検討会」 ・「今後の歯科健診のあり方検討会」報告書 ・「生活習慣病対策口腔健康モデル事業」 （成人歯科健診モデル事業 H18～20）		・歯周疾患検診開始（老人保健法）〈老人保健事業〉 ・歯周疾患検診が健康増進法に基づく 〈市町村健康増進事業〉へ移行 ・保険者による特定健診・特定保健指導の開始 （高齢者の医療の確保に関する法律）
H21 H22	**・「標準的成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」策定と公表（H21、7）** ・「標準的成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」テスト事業（評価）事 ・全国都道府県歯科医師会 ブロック別研修会	**・厚生労働科学研究班** **「成人期における歯科疾患のスクリーニング体制の構築に関する研究」** **↓** **質問紙を導入した保健指導重視型の新たな歯科健診体制を提案（マニュアル（暫定版））** **（H22.3）**	
H23	・日本歯科衛生士会ブロック研修 ・厚生労働省研究班との打ち合わせ会	・厚生労働科学研究班 「わが国の健康増進事業の現状把握とその評価および今後のあり方に関する調査研究」 ↓ **歯科に関わる分担研究** **（具体化に向けた検討・検証作業予定）**	**・歯科口腔保健の推進に関する法律施行（H23.8）**
H24	・生活歯援プログラムの実践に向けた研修会		
H25	・生活歯援プログラム（Web版）の作成（～H26）		・健康日本21（第2次）スタート ・都道府県健康増進計画 ｝ 新計画スタート ・　同　医療計画 ｝
H26	**・「標準的成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアルWeb版」策定と公表**	・後期高齢者医療の被保険者に係る歯科健診（モデル事業）	・健康増進事業実施要領の改正に係るQ＆Aに集団健康教育等で生活歯援プログラムの質問票を使用して差し支えないとの文言が記載された

2）生活歯援プログラム Web 版の特徴とその大まかな流れについて

（1）Risk Finding を目指したプログラム

う蝕や歯周病のような高い罹患率を有する疾患では、その健診の意義を早期発見・早期治療（case finding）に求めても、罹患率の低減には必ずしも繋がりません。なぜなら、口腔疾患はその人の日常の行動（口腔保健行動）に強く関連するものであり、行動的リスクや環境的リスクを診断し対処することが、その予防には重要不可欠です。

そのために、疾患のリスクを早期に発見し（risk finding）、そのリスクへの対処としての保健指導や健康教育を包括した歯科健診プログラムが求められます。成人は小児とは異なり、その知識や態度・行動にかなりの個別性を有する年齢集団であり、その対応には、専門家を中心とした歯科保健から、受診者を中心とした口腔保健へと歯科医療専門家側の意識の転換、言わば「指導」から「支援」へパラダイムシフトが必要かつ重要です。

（2）生活歯援プログラムの特徴

生活歯援プログラムは、上記に述べた考え方に立脚したプログラムであり、いわゆる一次予防の概念に基づく歯科健診・保健指導を実施するためのツールであることが大きな特徴と言えます。

従来の健診では歯科医師による口腔内診査が不可欠でしたが、この生活歯援プログラムでは、受診者の症状・困りごと・保健行動・環境等に係わる項目を中心とした 20 項目からなる質問紙票に記入いただき、それを PC、またはタブレット等に入力することで受診者の類型化を行い、その方に適した保健指導を行う事が出来ます。また、電子デバイス環境にない場合は、紙媒体のみにて類型化することも可能です。

そしてもう一つの特徴として、行動目標の設定が挙げられます。これは受診者の生活習慣を是正させていくために必要かつ実現可能な目標を、指導担当者と受診者の協働のもとに設定するものであり、実施されたプログラムの評価を行う際の重要な指標と位置付けています。

（3）生活歯援プログラムの大まかな流れ

①事前に質問紙票に記入してもらい、その内容を PC またはタブレット等に入力し、その方に必要な保健指導を類型化する。

②類型結果に基づき、保健指導実施者（歯科医師、歯科衛生士、保健師等）が受診者に必要とされる情報提供と支援を行い、必要であれば行動変容を促すための行動目標を、実施者と受診者の協働で設定する。

③フォローアップは、保健指導の必要度に応じて段階的に実施し、受診者の行動変容を継続的に支援する。

④保健指導の効果について、行動目標の達成度（行動変容）および口腔内状況の改善等を指標とする評価を行う。

（4）Web 版の特徴

本プログラム・マニュアルに関する取扱いの詳細は、Web 版取扱説明書をご参照いただきたいのですが、Web 版の主な特徴について下記に記載すると、

1）利用者 ID と受診者 ID

Web 版では利用するにあたってまず利用者登録が必要となります。また、利用者登録の際には利用者 ID とパスワードを設定します。この利用者 ID とパスワードはログインの際に必要となるのでお忘れにならないようにご注意ください。

また、Web 版では受診者毎に受診者 ID を付与する必要がありますが、その際の注意点として、**同一の利用者 ID 内では受診者 ID の重複は出来ない設定**となっています。そのため、複数台のパソコンやタブレットで同一の利用者 ID を使用して行う場合や同一の利用者 ID を長期的に使用する場合、受診者 ID の重複の可能性が高くなる事から、受診者 ID の付与についてはあらかじめ一定のルールを設定しておかなければなりません。以下に受診者 ID の付与について例をお示ししますので、参考にしてください。

受診者 ID の付与ルールの一例

例①市区町村名+受診番号順：千代田-0001,千代田区-002,…

例②診療所+受診番号順：○○歯科-001,○○歯科-0002,…

例③事業所名+受診番号順：○○工業-A-001,○○工業-A-002,…
（支店名はアルファベットで記入）

例④健診会場+受診番号順：○○保健所-001,○○保健所-002,…

例⑤都道府県歯会名+受診番号順：神奈川-001, 神奈川-002,…

2）使用できる端末

PC はもとより、iPad および Windows を使用するタブレット等であれば Web 版が使用可能です。但し、現時点ではアンドロイドを OS とするタブレット等での使用では不具合が生じる可能性があります。

3）クラウドタイプであること

Web 版上での本プログラムは、クラウドコンピューティングを採用しています。

即ち、受診者のデータは、無線ルーターを介して日本歯科医師会が委託している（株）山手情報処理センターのサーバーへ自動的に送られ、データとして蓄積される、いわゆるクラウド型のシステムとなっており、利用者は、受診者の受診者 ID を入力することにより、どの端末からも即座に過去のデータを読み取ることができます。

4）個人情報のインポートとエクスポート

個人情報保護の観点から、（株）山手情報処理センターのサーバーには受診者の名前、生年月日、住所等のデータは残りません。そのため、受診者の過去のデータを呼び出すには、受診者の受診者 ID が必須となります。

一方、タブレット等の携帯情報端末には入力した受診者の個人情報が残ります。また

携帯情報端末は総じて記憶容量が小さく、紛失や取り扱う際に破損する恐れもあるため、端末に残った個人情報は、健診後にメインとなる PC にデータを移行する必要があります。つまり、携帯情報端末から個人情報を含む健診結果を出力し（エクスポート）、それを本プログラムのデータ管理を行うメイン PC に入力する（インポート）必要があることにご留意ください。尚、その際、PC 上でのアクシデントに備えて、個人名と受診者 ID の対照表をバックアップとしてご用意頂くことをお勧めします。

5）Web 版をタブレット等の携帯情報端末を用いて実施する際に必要な環境

本プログラムをタブレット等の携帯情報端末を用いて実施する際は、携帯情報端末（iPad もしくは Windows に対応したタブレット等）とインターネット接続環境（無線 LAN、モバイルルーター等）があれば可能です。加えてその場で判定集計を印刷する場合は、PC またはタブレット等に接続対応したプリンターが必要です。

6）質問項目の追加が可能

Web 版では質問項目の追加が 10 問まで可能となりました。追加方法は Web 版取扱説明書を参照ください。

以上、本プログラムの特徴とその大まかな流れについて簡単に触れましたが、本プログラムの詳細については、後掲資料中のスライドや DVD 資料（資料－5－①、②）を参照してください。

標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル（Web版）

～新しい成人歯科健診を目指して～

平成20年度からメタボリックシンドロームについて、そのリスクをいち早く発見し、生活習慣改善のための保健指導を行う「特定健診・保健指導」が実施されています。

わが国のこの新しい成人保健対策をひとつの背景として、歯科疾患の早期発見早期治療から疾病予防（一次予防）を中心とした歯科健診への転換を目指して、新しい健診の指針「標準的な成人歯科健診プログラム・保健指導マニュアル」を作成いたしました。

尚、本編は上記マニュアルのWeb版について説明しています。PC版をご覧になりたい方はPC版の手引きをご覧くださるようお願いいたします。

1

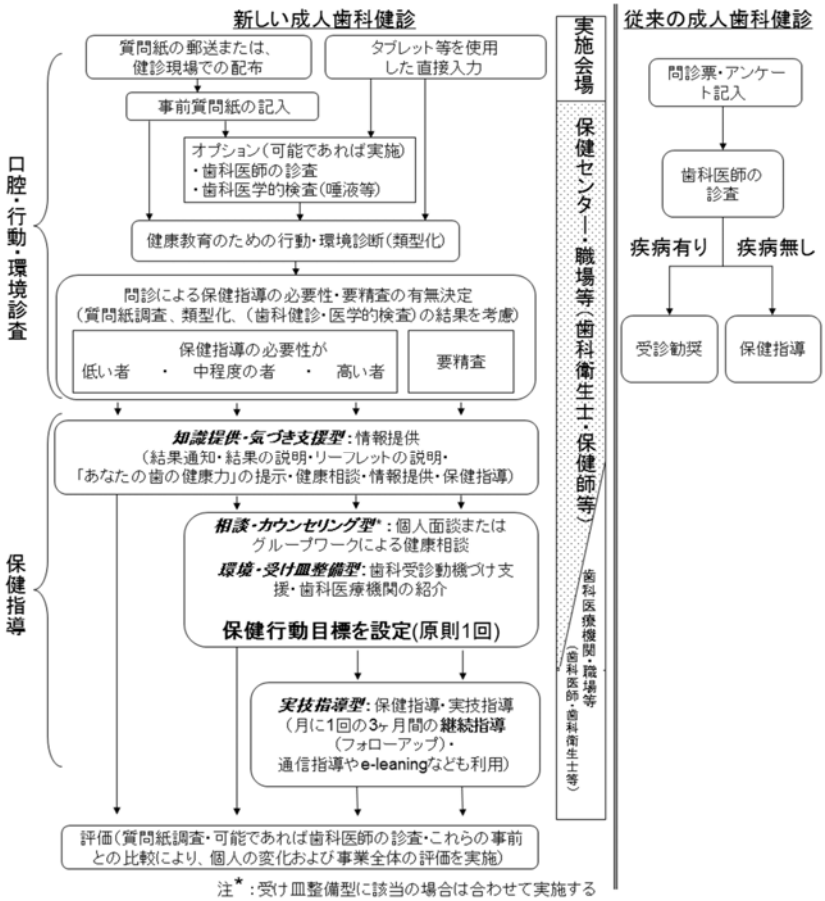
●新しい成人歯科健診・保健指導とは

これまで歯科健診における歯科医師の役割は、主として口腔内診査でしたが、この新しい歯科健診では、従来の疾病発見型から、行動・環境リスク発見型・行動変容支援型歯科健診へと転換するものです。

	従来の歯科健診	これからの歯科健診
目　　的	歯科疾患の重症化の防止	**歯科疾患の予防と口腔機能の維持**
目　　標	歯科受診率の向上	**口腔保健のための行動変容**
意　　義	歯科疾患の予防	**全身の健康・生活習慣改善への寄与**
歯科健診の重点	歯科疾患の早期発見	**環境・行動（リスク）診断に基づくスクリーニング**
歯科健診の方法	歯科医師による視診・触診	**質問紙・簡便な検査**
歯科健診の役割	歯単位の口腔内診査	**効果的なアドバイス・保健指導**
保健指導	知識提供	**気づき支援**
歯科保健指導実施者	歯科医師・歯科衛生士	**歯科衛生士・保健師・歯科医師等**
歯科医療機関の役割	治療の受け皿	**治療・保健指導の受け皿**

2

●新しい成人歯科健診・保健指導の流れ



質問紙票調査により受診者に必要な情報提供・環境整備・受療勧奨といった類型化を行う。

類型結果に基づき、保健指導実施者(歯科衛生士・保健師等)が、受診者に必要とされる情報提供と支援を行い、健康に関わる行動変容のための目標設定を協同で行う参加型の保健指導を実施。

フォローアップは、保健指導の必要度に応じて段階的に実施。受診者の行動変容を継続的に支援する。

歯科健診・保健指導の評価を継続的に実施し、受診者・歯科医療者・関係職種で共有する。

●類型化について

質問紙票調査により類型化を行い、支援タイプを決定する。

保健指導の必要性が

低い者 | 中程度の者 | 高い者 | 要精査

1.知識提供・気づき支援型(対象者:保健指導の必要性が低い者を含めた全員に実施)
→ **結果通知・結果の説明・リーフレットの説明・「あなたの歯の健康力」(サイコロ図)の提示・健康相談・情報提供・保健指導**

2.相談・カウンセリング型(対象者:保健指導の必要性が中程度または高い者)
→**個人面談またはグループワークによる健康相談**

3.環境・受け皿整備型(対象者: ①歯科疾患が疑われ、歯科医院での精査が必要な者 ②保健指導 の必要性が中程度または高い者で、歯科医院での定期健診等が必要な者)
→**歯科受診動機づけ支援・歯科医療機関の紹介**

保健行動目標の設定

4.実技指導型(対象者: ①保健指導の必要性が高い者 ②歯科疾患が疑われ、歯科医院での精査が必要な者)
→ **保健指導・実技指導(月に1回の3ヶ月間の継続指導(フォローアップ)・通信指導やe-learningなども利用**

5. 受診勧奨(対象者:歯科医院での精査が必要な者)

評　価　へ

●受信者情報の入力等（Web版）

日本歯科医師会HPに公開されているURLにアクセスします。まずは利用者登録を行い、ログインします。

受診者属性については必須の項目と任意の項目があります。

また、PC版同様、データの入力・集計・管理ができます。

受診者の検索をすることも可能で、大規模事業所の場合も、一括管理ができ、すぐに修正や追加をすることが可能です。

●質問紙票調査について

本プログラムの特徴は、質問紙票調査により対象者の類型化を行い、その後のフォローアップの方針を決定することです。

Web版プログラムで入力・集計することも、紙媒体のみで簡単に類型化することもできます。

Web版では質問項目の追加も10問まで可能です。

Web版

紙媒体

●Web版質問紙等調査書類一式について

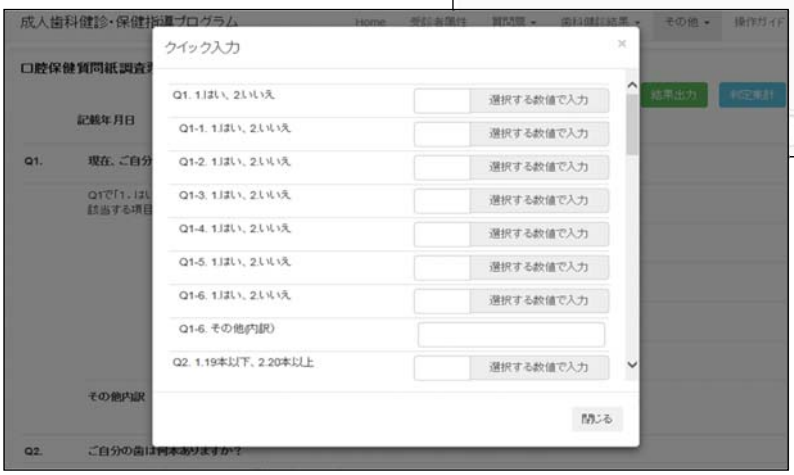
Web版で入力・集計する場合の質問紙等調査書類一式はWeb版にログイン後、HOME画面から管理→白票出力から印刷できます。

7

●Web版での調査結果入力

調査結果の入力画面です。

下図の通り、クイック入力もできますのでご活用ください。



8

「判定集計ボタン」を押すと、質問紙による回答結果が表示されます。受診者に説明をしながら配布します。

レーダーチャートで、歯の健康力のバランスを表示

色の赤くなっている部分が注意すべき点

具体的に改善すべきアドバイスを表示

類型化を行い、受診者にあった支援を表示

●保健行動目標の設定

行動変容を促す上で最も重要な、対象者自身による目標設定を行う。

ポイント

(1)具体的な数値で表現する
(2)難しい場合の対処法も考えておく
(3)目標を記録として残す
(4)今日から実践する
(5)実践可能な目標設定をする
(6)最終目標を示す

●口腔診査票・アンケート等

歯科医師による歯科健診のあった場合のための「口腔診査票」や「歯科健診受診後のアンケート」も入力・集計することができます。

●質問紙（紙媒体）

回答を折り曲げ、点数化し、簡単に類型化することができます。

•質問紙の用意（両面コピー）

表面・裏面

- ★あなたの支援タイプ（複数可）は・・・
- □1.「知識提供・気づき支援型」
- □2.「相談・カウンセリング型」
- □3.「環境・受け皿支援型」
- □4.「実技指導型」
- □5.「受診勧奨型」
- です。
- ★質問紙票の合計点は、＿＿＿＿＿点です。

	0点	1点
Q1 現在、ご自分の歯や口の状態で気になることはありますか？ ⇒該当するもの**全てに**○をつけてください：1.噛み具合、2.外観、3.発話、4.口臭、5.痛み、6.その他	いいえ	はい
Q2 ご自分の歯は何本ありますか？（親知らず、入れ歯、インプラントは含みません。 さし歯は含みます。） ⇒本数もご記入ください （　　）本	20本以上	19本以下
Q3 自分の歯または入れ歯で左右の奥歯をしっかりとかみしめられますか？	左右両方かめる	片方／両方かめない
Q4 歯をみがくと血がでますか？	いいえ	時々／いつも
Q5 歯ぐきが腫れてブヨブヨしますか？	いいえ	時々／いつも
Q6 冷たいものや熱いものが歯にしみますか？	いいえ	時々／いつも
Q7 かかりつけの歯科医院がありますか？	いいえ	はい
Q8 仕事が忙しかったり休めず、なかなか歯科医院に行けないことがありますか？	いいえ	はい
Q9 現在、次のいずれかの病気で治療を受けていますか？ ⇒該当するもの**全てに**○をつけてください：1.糖尿病、2.脳卒中、3.心臓病	いいえ	はい
Q１０ 家族のほとんどは、歯の健康に関心が高いですか？	はい	どちらともいえない／いいえ
Q１１ 自分の歯には自信があったり、人からほめられたことがありますか？	はい	どちらともいえない／いいえ
Q１２ 職場や外出時に歯ブラシを持っていきますか？	毎回	時々／いいえ
Q１３ 間食（甘い食べ物や飲み物）をしますか？	いいえ	時々／毎日
Q１４ たばこを吸っていますか？	いいえ	はい
Q１５ 夜、寝る前に歯をみがきますか？	毎日	時々／いいえ
Q１６ フッ素入り歯磨剤使っていますか？	はい	いいえ/わからない
Q１７ 歯間ブラシまたはフロスを使っていますか？	毎日	時々／いいえ
Q１８ ゆっくりよく噛んで食事をしますか？	毎日	時々／いいえ
Q１９ 歯科医院等で歯みがき指導を受けたことはありますか？	はい	いいえ
Q２０ 年に１回以上は歯科医院で定期健診を受けていますか？	はい	いいえ

判定時には、この点線で折り曲げてください

A.「QOL、歯口の状態・機能」質問群

Q1～Q6で合計2点以上

「知識提供・気づき支援型」
＋「相談・カウンセリング型」

B.「支援的環境」質問群

Q7～Q12で合計3点以上

「知識提供・気づき支援型」
＋「相談・カウンセリング型」
＋「環境・受け皿支援型」

C.「保健行動」質問群

Q１３～Q２０で合計3点以上

「知識提供・気づき支援型」
＋「相談・カウンセリング型」
＋「実技指導型」

・塗りつぶし枠合計5点以上：**「受診勧奨型」**
（全てのタイプの保健指導を実施）
・いずれにも該当しない場合：**「知識提供・気づき支援型」**

●評価について

診査実施から3ヵ月後を目途に必要な保健指導が完了してから、再度質問紙調査を実施する。事前に歯科医師による口腔内診査を実施している場合は、可能ならば再度口腔内診査を行う。これらの結果を事前調査と比較し、評価を行う。

①プロセス評価

・参加者の満足度　　・実際に寄せられた声

・事業の進行が円滑かどうか　　・類型化がスムーズに行われたかどうか　等

↓

②影響・結果評価

・歯科保健行動や口腔状態の改善状況を評価

・質問紙と口腔診査のデータを用いて、受診者の改善状況を評価

a.質問紙による評価・・・・・歯科保健行動の改善度の評価（ Q13~Q20 ）

口腔内状況（Q1～Q6）

b. 口腔診査による評価（必須ではない）

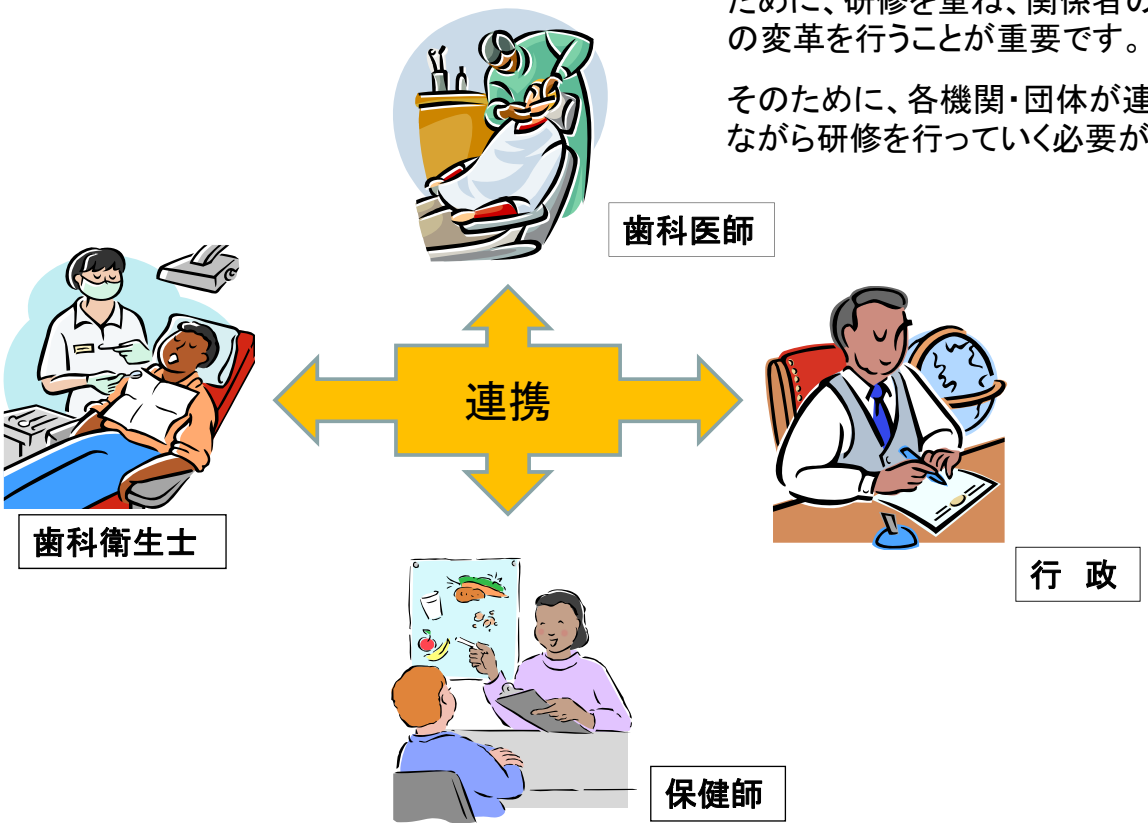
歯周疾患：歯肉出血、歯周ポケット、う蝕、歯の喪失　等

13

●研修体制

新しい成人歯科健診事業の普及を図るために、研修を重ね、関係者の考え方の変革を行うことが重要です。

そのために、各機関・団体が連携を保ちながら研修を行っていく必要がある。



14

3）成人歯科健診・保健指導プログラム Web 版取扱説明書

取扱説明書には Web 版の具体的な操作方法等について記載しています。日本歯科医師会ホームページに記載している URL に接続していただき、接続後の手順等詳細については、取扱説明書を参照してください。

成人歯科健診・保健指導プログラム
（通称：生活歯援プログラム）
Web 版
取扱説明書

15

平成 26 年 12 月

公益社団法人 日本歯科医師会

目　次

１．利用者登録 …… 2

２．ログイン …… 4

３．パスワード、利用者情報の変更方法 …… 5

４．質問項目の追加機能 …… 6

５．受診者の登録 …… 8

６．受診者検索 …… 11

７．調査データの入力 …… 12
　１）受診者属性 …… 13
　２）質問票（初回） …… 14
　３）歯科健診結果（初回） …… 19
　４）自己評価票 …… 20
　５）歯科健診受診後アンケート …… 21
　６）質問票（２回目） …… 22
　７）歯科健診結果（２回目） …… 24

８．登録データの削除 …… 25

９．白票出力 …… 26

１０．集計出力 …… 27
　１）質問票の全体集計 …… 28
　２）歯科健診受診後アンケートの全体集計 …… 29
　３）自己評価の一覧 …… 30
　４）口腔診査の全体集計 …… 31
　５）口腔保健質問紙調査出力データ（管理用）の一覧表 …… 32

１１．名簿のインポート …… 33

１２．名簿のエクスポート …… 34

１３．タブレットでエクスポートした個人情報データを管理用パソコンへ移行 …… 36

１４．名簿のクリア …… 37

１５．全データのエクスポート …… 38

１６．ログアウト …… 39

１７．利用者ＩＤ・パスワードを忘れた場合 …… 40

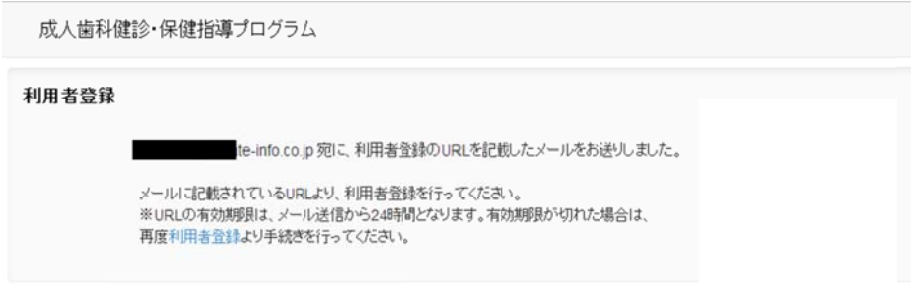
１．利用者登録

本システムの初期画面は、下記の画面となります。初めて利用される方は、利用者登録を行って「利用者ＩＤ」と「パスワード」を取得してください。

利用者ＩＤとパスワードを取得することにより、本システムを利用することが出来ます。先ずは「利用者登録」ボタンを押下して、利用者登録画面へお進みください。

「利用者登録」ボタンを押下すると下記の画面へと移行します。利用者のメールアドレスを入力して「送信」ボタンを押下してください。その後、入力されたメールアドレスに対して「利用者情報本登録のご案内」を送付致します。

下記の画面は、利用者登録の確認画面となります。



「利用者情報本登録のご案内」のメールが届きましたら、本文中にあるＵＲＬ（リンク）を立ち上げてください。立ち上げると以下の画面へと移行します。この画面上で利用者の情報を全て入力していただき、「登録」ボタンを押下してください。なお、入力いただく項目は全て必須となりますので、入力漏れのないようお願い致します。

登録が完了しましたら、利用者のメールアドレスに対して「利用者情報本登録完了のご連絡」を送付致します。

メールの本文にて、仮パスワードをお知らせしますので、利用者ＩＤと仮パスワードを利用して初期画面よりログインを実施してください。

２．ログイン

利用者ＩＤ、およびメールにてお知らせした仮パスワードを入力してログインしてください。ログイン状態を保持したい場合は、「ログイン状態を保持する」のチェックボックスを選択してください。ログイン状態を保持した場合、システム上で「ログアウト」するか、パソコンの電源を切らない限り、ログイン状態を維持します。

正常にログインすると以下の画面へと切り替わります。

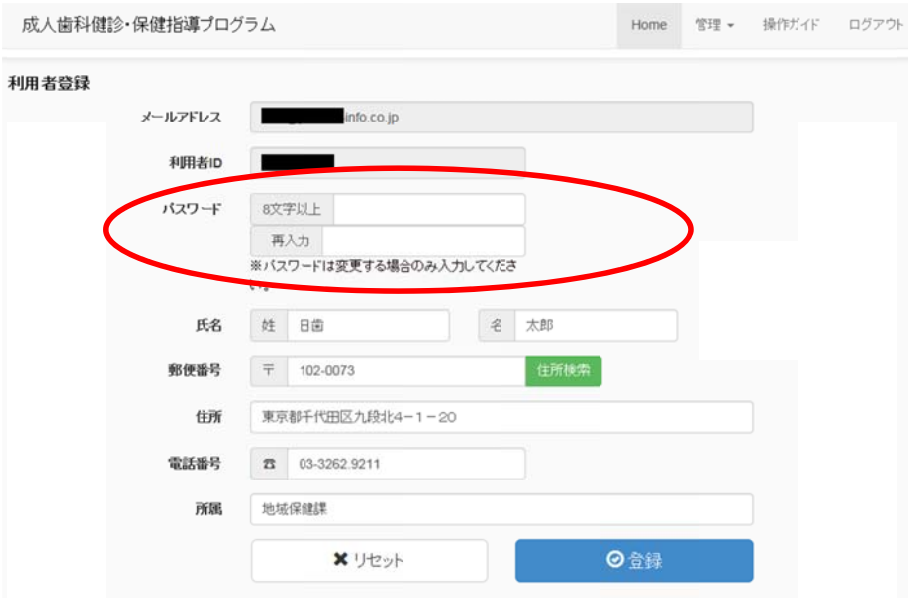
３．パスワード、利用者情報の変更方法

本システムでは、パスワード、および利用者情報を変更することが可能です。但し、利用者ＩＤの変更は出来ません。パスワードや利用者情報を変更する場合は、以下の手順で実施してください。

画面右上にある「管理」を押下して「利用者管理」を選択してください。

利用者の登録情報の画面が表示されます。パスワードを変更する場合は、パスワード欄に新しいパスワードを入力（再入力にも同様のパスワードを入力）して、登録してください。

また、氏名、郵便番号、住所、電話番号、所属の変更も可能となりますので、変更した後、登録していただきますとその情報が更新されます。



４．質問項目の追加機能

本システムでは、口腔保健質問紙調査票に質問項目を追加することが出来ます。質問項目を追加する場合は、以下の手順で実施してください。

画面右上にある「管理」を押下して「質問票項目管理」を選択してください。

質問票追加項目管理画面が表示されます。下記の画面は既に２問追加した形式となっております。新しく質問項目を設定する場合は、「新規登録」ボタンを押下してください。

最大１０問まで設定することが可能です。

新設する質問項目を入力し、入力が完了しましたら登録してください。

- **質問文**
  質問文を入力
- **回答種別**
  追加する質問が単一回答（○印は１つ）の場合は、ラジオボタンを選択
  追加する質問が複数回答（○印はいくつでも）の場合は、チェックボックスを選択
  追加する質問がフリー入力（自由記載の設問）の場合は、フリー入力を選択
- **回答内容（最大５項目まで）**
  質問文に対する項目名（選択肢）を入力

登録が完了すると下記の画面へ移行し、登録した質問文が反映されます。

５．受診者の登録

本システムにて質問紙調査を実施する場合は、受診者の新規登録をしていただきます。下記の画面の「受診者新規登録」ボタンを押下してください。

受診者の属性を入力する画面となります。「受診者ＩＤ」、「初回受診年月日」、「性別」、「年齢」は必須項目となりますので、この情報を入力いただかない限り、登録することはできませんのでお気をつけください。

質問紙調査票はパソコンやタブレットから直接入力することができますが、紙媒体で調査を実施して、あとから入力することも可能です。紙媒体で実施する場合は、「性別」と「年齢」だけは必ず回答いただくようにしてください。

受診者属性の入力が完了したら「登録」ボタンにて登録してください。

・受診者ＩＤ（必須項目）
　利用者様が任意でお考えいただく受診者のＩＤとなります。本システムは受診者ＩＤでデータをコントロールしております。受診者ＩＤのダブりが生じないよう工夫（日付や健診会場を組み合わせてＩＤを作成する等）して取り決めてください。なお、受診者ＩＤは英数字の入力が可能です。

・健診会場
　健診会場を入力してください。

・初回受診年月日（必須項目）
　ボックスを選択するとカレンダーが表示されます。健診の実施日を選択してください。

・受診者氏名（漢字・かな）
　受診者の氏名（漢字・かな）を入力してください。

・性別（必須項目）
　受診者の性別を選択してください。

・生年月日
　受診者の生年月日をプルダウンメニューから選択してください。

・年齢（必須項目）
　初回受診年月日と生年月日の両方を入力していただくと、年齢は自動計算されボックスの中に自動で表示されます。生年月日が不明の場合（特に紙媒体で調査を実施した場合）は、年齢をプルダウンメニューから選択してください。

・郵便番号
　受診者がお住まいの郵便番号を入力してください。

・住所
　受診者がお住まいの住所を入力してください。郵便番号を入力していただくと、町名まで自動で表示されます。

・受付番号
　利用者様が任意でお考えいただく番号となります。システムで管理する番号ではないため、ご自由にご利用ください。

・コメント
　利用者様が任意でお考えいただくコメント欄となります。ご自由にご利用ください。

受診者属性の入力が完了し、登録すると下記の画面に戻ります。登録された受診者の情報は「受診者一覧」に表示されます。

口腔保健質問紙調査、歯科健診結果、保健行動目標・自己評価、歯科健診受診後のアンケートの入力を実施する場合は、入力したい受診者の欄にある「編集」ボタンを押下して該当する調査の入力処理に進んでいただきます。

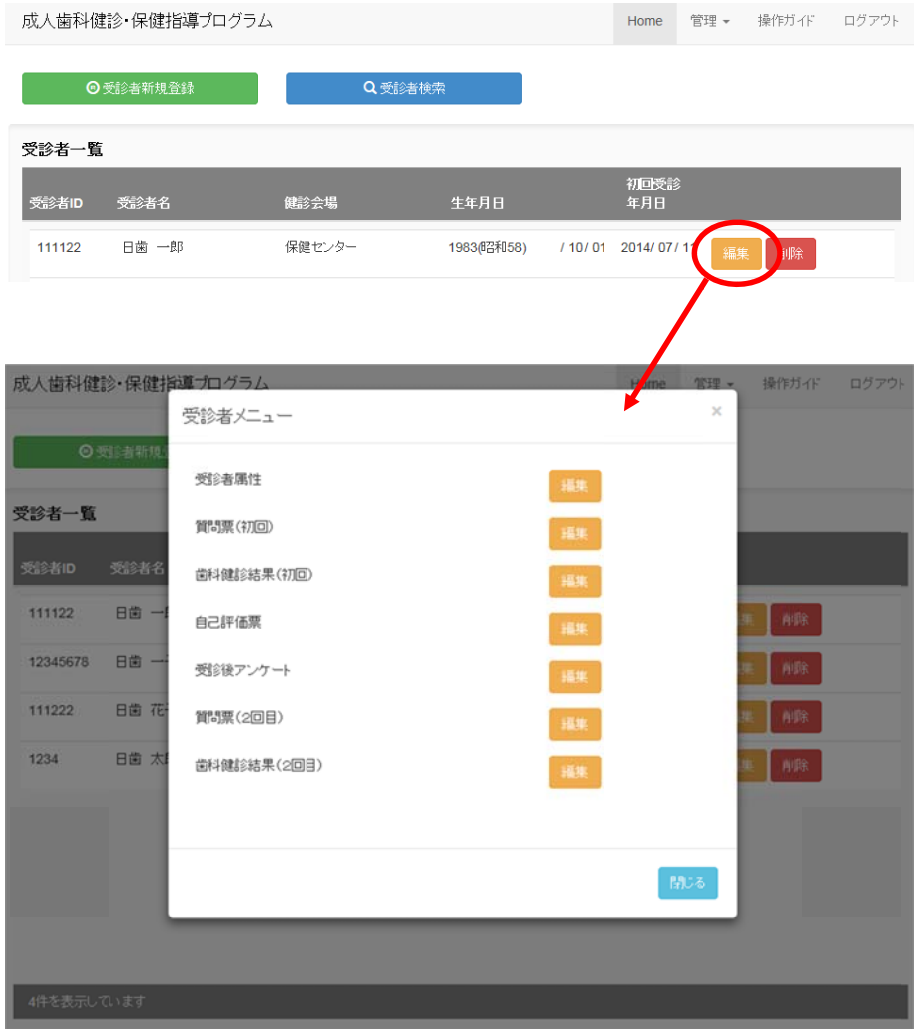
６．受診者検索

本システムでは受診者検索機能を設けてあります。登録者の人数が多くなったときに役立つ機能となりますのでご利用ください。「受診者検索」ボタンを押下すると、受診者検索の選択機能が表示されます。

この検索機能はあいまい検索が可能です。例えば、受診者検索の「健診会場」欄に「保健」と入力していただくと、下段の受診者一覧の健診会場から「保健」という文字を検索し、「保健」と登録されている（実際は「保健センター」で登録）、上段２名分の情報のみ表示することができます。元に戻したい場合は「クリア」ボタンを押下すれば、受診者一覧の表示は登録者全員分が表示されます。

７．調査データの入力

口腔保健質問紙調査、歯科健診結果、保健行動目標・自己評価、歯科健診受診後のアンケートの入力を実施する場合は、入力したい受診者の欄にある「編集」ボタンを押下して該当する調査の入力処理に進んでいただきます。「編集」ボタンを押下すると受診者メニューが表示されます。その中から実施したい欄の編集ボタンを押下してください。



１）受診者属性

受診者属性の編集を行います。詳細は「５．受診者の登録」で説明しておりますので、そちらをご参照ください。

２）質問票（初回）

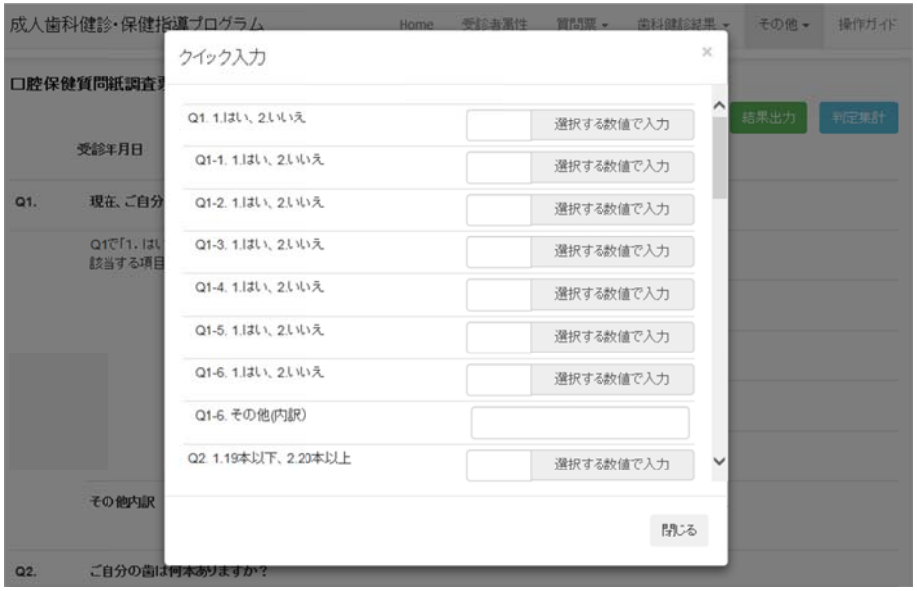
口腔保健質問紙調査（初回）の入力・編集を行います。質問票は、共通質問（２０問）と利用者が自由に設定できる追加質問（最大１０問）、唾液検査・保健指導者等の入力項目で構成されております。

タブレット等を使用して受診者に直接回答していただくことも可能です。全質問の回答が済みましたら、最下段にある「登録」ボタンを押下して登録してください。

① クイック入力

「クイック入力」ボタンを押下すると、口腔保健質問紙調査のクイック入力用フォームが表示されます。これは、紙媒体で調査した調査票を素早く入力できるようにしたもので、本画面とは違い数値コードを入力する仕組みとなります。

パソコンにて質問紙の回答を数値で入力することにより、入力時間が短縮されます。但し、タブレットを利用してのクイック入力は、逆に時間がかかってしまいますので、タブレットの場合は、通常の選択方式で実施することを推奨します。



② 結果出力

「結果出力」ボタンを押下すると、口腔保健質問紙調査の個票をＰＤＦにて出力します。「帳票出力結果のＰＤＦを出力します」とメッセージが表示されます。

「質問票のみ」のボタンを押下すると、受診者個人の回答フォーマットが表示（下表）されます。「質問票＋判定結果表」のボタンを押下すると、受診者個人の回答フォーマットと判定集計結果表が表示されます。判定集計結果表の説明は、次ページの「③ 判定集計」をご参照ください。

口腔保健質問紙調査票（初回）

受診者ID	1001	受診年月日（西暦）	2014年10月31日		
氏名	日歯　太郎		ふりがな	にっし　たろう	
性別	①．男　2．女	年齢	32	生年月日	1982年07月07日
住所	〒102-0073 東京都千代田区九段北４－１－２０				

「入力欄」に、各質問項目の回答番号をご入力ください。（○印は各１つ）

Q1.　現在、ご自分の歯や口の状態で気になることはありますか？	①．はい　2．いいえ
Q1で「1．はい」と回答した方へ：該当する項目を全てご記入ください。 Q1で「2．いいえ」の場合、下記6項目は全て「2．いいえ」とする。	
1. 噛み具合が気になる	①．はい　2．いいえ
2. 外観が気になる	1．はい　②．いいえ
3. 発話が気になる	①．はい　2．いいえ
4. 口臭が気になる	1．はい　②．いいえ
5. 痛みが気になる	①．はい　2．いいえ
6. その他()	1．はい　②．いいえ
Q2.　ご自分の歯は何本あります？ かぶせた歯（金歯・銀歯）、ブリッジ、根だけ残っている歯も本数に含めます。	1．19本以下　②．20本以上

③ 判定集計

「判定集計」ボタンを押下すると、口腔保健質問紙調査の判定結果をＰＤＦにて出力します。「結果判定　結果判定を表示します」とメッセージが表示されます。「はい」ボタンを押下すると次ページの判定結果が表示されます。

口腔保健質問紙調査（初回）の結果

受診者ID	1001	健診会場	日本歯科医師会	受診年月日（西暦）	2014年10月31日
氏名	日歯 太郎	ふりがな	にっし たろう	年齢	32	歯の本数	22 本

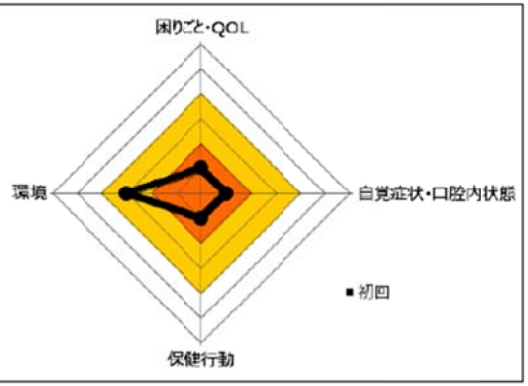
●あなたの「歯の健康力」

【チャートの見方】

□ ： 問題なし
■ ： やや問題あり
■ ： 問題あり

太線があなたの診断結果です。

オレンジ色や黄色の部分に線がかかっていると、その領域に問題があります。



「歯の健康力」判定結果	歯の健康力（口腔保健質問紙調査票の質問に対応）							
困りごと・QOL	歯や口の状態で気になることがある	噛み具合	外観	発話	口臭	痛み	その他	
自覚症状	奥歯の噛みしめ	歯みがき時の出血		歯ぐきのブヨブヨ		歯にしみる	歯の本数	
保健行動	間食	たばこ	就寝前の歯磨き	フッ素入り歯磨き剤	歯間ブラシ・フロス	ゆっくり噛む	歯磨き指導	定期健診
環境	かかりつけ歯科医院	歯科医院へ通院		病気の治療	周囲の人々の関心	自信を持てる歯	職場や外出先の歯磨き	

■ ： 問題あり、■ ： やや課題あり、□ ： 問題なし

●アンケートからみた「あなたの歯の健康力」

	総 評
困りごと・QOL	噛み具合,発話,痛みなどの心配ごとがあります。今回の保健指導の機会を利用してよく相談してください。
自覚症状・口腔内状態	歯みがき時の出血,歯がしみるなどの自覚症状がみられます。今回の保健指導の機会を利用して改善方法などについてよく相談してください。
保健行動	間食をしない,禁煙をする,就寝前に歯磨きをする,フッ素入り歯磨き剤を使う,歯間ブラシ・フロスを使う,歯科医院で歯磨き指導を受けることが望まれます。これまでの生活習慣を見直して、できるところから改善していきましょう。
環境	やや、環境の変化が望まれます。歯の健康の維持には、本人の取り組みだけでなく、周囲の支援的環境が必要です。今回の保健指導の機会を利用して相談してください。
受診勧奨	
備考欄（唾液検査結果等）	

●今回進める支援は

○	1．知識提供・気づき支援型（情報提供） →全員該当
○	2．相談・カウンセリング型（動機づけ支援）
○	3．環境・受け皿整備型（歯科受診動機づけ支援）
－	4．実技指導型（積極的支援）職域・医療機関
－	5．歯科受診勧奨

３）歯科健診結果（初回）

歯科健診結果（初回）の入力・編集を行います。診査した項目の入力が済みましたら、最下段にある「登録」ボタンを押下して登録してください。

４）自己評価票

保健行動目標・自己評価の入力・編集を行います。各項目の入力が済みましたら、最下段にある「登録」ボタンを押下して登録してください。

成人歯科健診･保健指導プログラム　Home　受診者属性　質問票　歯科健診結果　その他　操作ガイド

保健行動目標･自己評価票

結果出力

歯科健診受診後の保健行動目標

	1回目の行動目標	2回目以降の行動目標
目標設定日	2014-07-31	
目標1		
目標2		
目標3		

歯科健診後のフォローアップ

- [ ] リーフレット・パンフレット
- [ ] 健康学習教室
- [ ] 通信指導
- [ ] 歯科医院での健康学習
- [ ] その他

1回目の保健行動目標の達成度

評価日	

目標3	○できた　○だいたいできた　○あまりできなかった　○全くできなかった

難しかったり、困ったことは何ですか？　口の中の変化は？

備考1	
備考2	
備考3	

✖ リセット　登録

５）歯科健診受診後アンケート

歯科健診受診後のアンケートの入力・編集を行います。各項目の入力が済みましたら、最下段にある「登録」ボタンを押下して登録してください。

成人歯科健診･保健指導プログラム　Home　受診者属性　質問票　歯科健診結果　その他　操作ガイド

歯科健診受診後のアンケート

結果出力

受診日　2014-07-31

受診会場

Q1.	歯科健診を受けていかがでしたか？	○非常に満足した ○満足した ○どちらともいえない ○不満だった ○非常に不満だった
Q2.	保健指導やアドバイスはいかがでしたか？	○非常に満足した ○満足した ○どちらともいえない ○不満だった ○非常に不満だった
Q3.	具体的に何か実行しようと思いましたか？	○強く思った ○思った ○どちらともいえない ○あまり思わなかった ○全く思わなかった
Q8.	唾液検査があるほうが、歯科受診に対する動機づけが高まると思いますか？	○高まる ○変わらない ○どちらともいえない

Q9.　本日の歯科健診を受けて感じたことやご意見があればお聞かせください（255文字以内）

ご協力ありがとうございました

備考1	
備考2	
備考3	

✖ リセット　登録

６）質問票（２回目）

口腔保健質問紙調査（２回目）の入力・編集を行います。質問票は、共通質問（２１問）と利用者が自由に設定できる追加質問（最大１０問）、唾液検査・保健指導者等の入力項目で構成されております。処理方法は「質問票（初回）」と同様になりますので、２）質問票（初回）をご参照ください。

判定結果のみ「質問票（初回）」と異なります。２回目の判定結果は初回と比較した判定結果表となります。次ページの判定結果表をご参照ください。

口腔保健質問紙調査（２回目）の結果

受診者ID	1001	健診会場	日本歯科医師会	受診年月日（西暦）	2014年11月21日		
氏名	日歯　太郎	ふりがな	こし　たろう	年齢	32	歯の本数	22 本

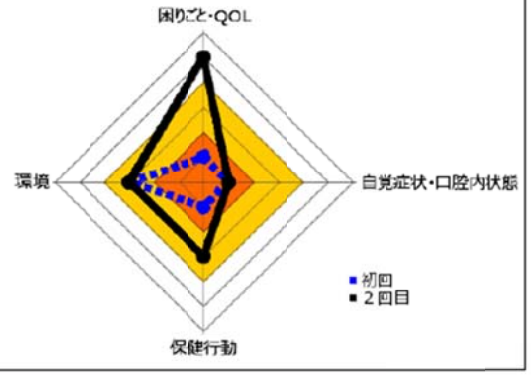
●あなたの「歯の健康力」

【チャートの見方】

□：問題なし
■：やや問題あり
■：問題あり

太線があなたの診断結果です。

オレンジ色や黄色の部分に線がかかっていると、その領域に問題があります。



「歯の健康力」判定結果	歯の健康力（口腔保健質問紙調査票の質問に対応）							
困りごと・ＱＯＬ	歯や口の状態で気になることがある		噛み具合	外観	発話	口臭	痛み	その他
自覚症状	奥歯の噛みしめ		歯みがき時の出血		歯ぐきのブヨブヨ		歯にしみる	歯の本数
保健行動	間食	たばこ	就寝前の歯磨き	フッ素入り歯磨き剤	歯間ブラシ・フロス	ゆっくり噛む	歯磨き指導	定期健診
環境	かかりつけ歯科医院		歯科医院へ通院		病気の治療	周囲の人々の関心	自信を持てる歯	職場や外出先の歯磨き

■：問題あり、■：やや課題あり、□：問題なし

●アンケートからみた「あなたの歯の健康力」

	総　評
困りごと・ＱＯＬ	特に問題はありません。
自覚症状・口腔内状態	歯みがき時の出血、歯ぐきの腫れ、歯がしみるなどの自覚症状がみられます。今回の保健指導の機会を利用して改善方法などについてよく相談してください。
保健行動	やや、生活習慣に問題があります。これまでの生活習慣を見直して、できるところから改善していきましょう。
環境	やや、環境の変化が望まれます。歯の健康の維持には、本人の取り組みだけでなく、周囲の支援的環境が必要です。今回の保健指導の機会を利用して相談してください。
受診勧奨	
備考欄（唾液検査結果等）	

●今回進める支援は

○	1．知識提供・気づき支援型（情報提供）　→全員該当
○	2．相談・カウンセリング型（動機づけ支援）
－	3．環境・受け皿整備型（歯科受診動機づけ支援）
－	4．実技指導型（積極的支援）職域・医療機関
－	5．歯科受診勧奨

７）歯科健診結果（２回目）

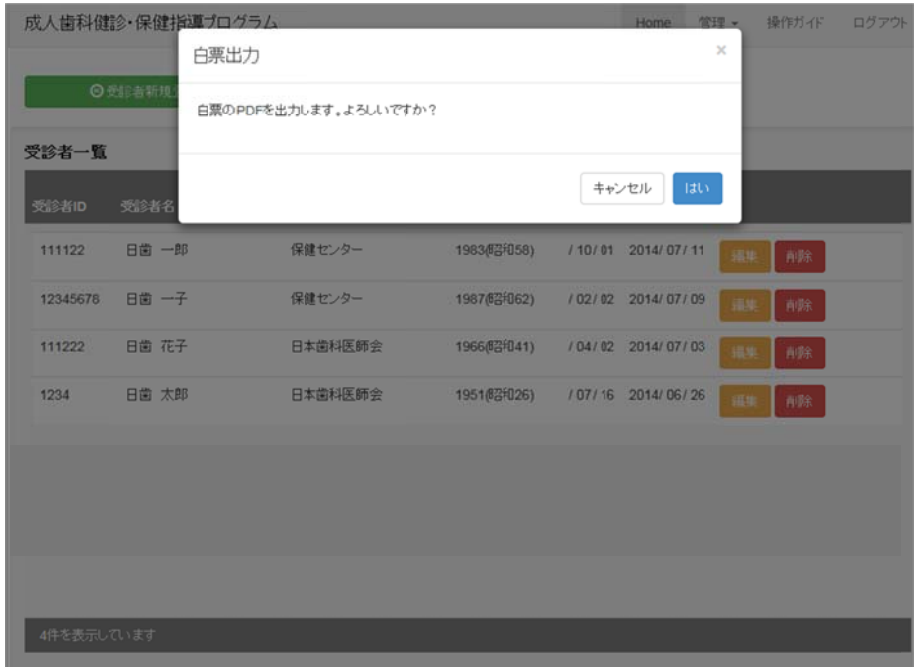
歯科健診結果（２回目）の入力・編集を行います。処理方法は「歯科健診結果（初回）」と同様になりますので、３）歯科健診結果（初回）をご参照ください。

８．登録データの削除

登録データの削除を実施します。登録されている受診者１名の情報全て（個人情報データとサーバに登録してあるデータ）を削除する機能となります。削除した場合は元に戻せませんので、データを確認してから削除するようにしてください。

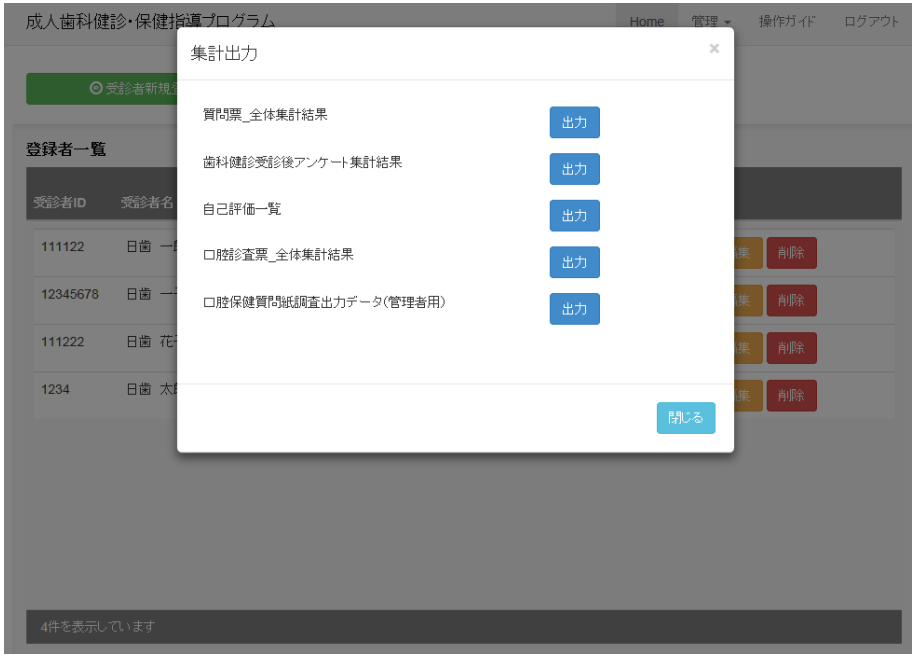
９．白票出力

白票出力は、本調査のアンケートや診査を紙媒体で実施する場合も考慮して、調査書類一式を印刷できる機能となります。必要であれば印刷してご利用ください。



１０．集計出力

集計出力は、登録済み全対象者の全体集計を実施します。集計は、「質問票の全体集計」、「歯科健診受診後アンケートの集計」、「自己評価一覧」、「口腔診査票の全体集計」、「口腔保健質問紙調査出力データ」を処理します。



１）質問票の全体集計

口腔保健質問紙調査の全体集計（初回、および２回目）を実施します。集計結果の見本は下表の通りです。

口腔保健質問紙調査の集計結果（全体）

2014年11月07日

口腔保健質問紙調査項目		第一回調査 人数	第一回調査 %	第二回調査 人数	第二回調査 %
性別	受診者数	1	100.0%	0	0.0%
	男	0	0.0%	0	0.0%
	女	1	100.0%	0	0.0%
	不明	0	0.0%	0	0.0%
年齢	有効回答数	1	－	0	－
	平均値	32.0	－	0.0	－
	標準偏差	0.0	－	0.0	－
Q1 現在、ご自分の歯や口の状態で気になることはありますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q1-1 噛み具合が気になる	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q1-2 外観が気になる	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	1	100.0%	0	0.0%
Q1-3 発語が気になる	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q1-4 口臭が気になる	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	1	100.0%	0	0.0%
Q1-5 痛みが気になる	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q1-6 その他	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	1	100.0%	0	0.0%
Q2 ご自分の歯は何本ありますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	19本以下	0	0.0%	0	0.0%
	20本以上	1	100.0%	0	0.0%
Q3 自分の歯または入れ歯で左右の奥歯をしっかりとかみしめられますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	いつも	1	100.0%	0	0.0%
	時々	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q4 歯をみがくと血がでますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	いつも	0	0.0%	0	0.0%
	時々	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q5 歯ぐきが腫れてブヨブヨしますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	いつも	0	0.0%	0	0.0%
	時々	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	1	100.0%	0	0.0%
Q6 冷たいものや熱いものが歯にしみますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	いつも	0	0.0%	0	0.0%
	時々	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q7 かかりつけの歯科医院がありますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q8 仕事が忙しかったり休めず、なかなか歯科医院に行けないことがありますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	1	100.0%	0	0.0%
Q9 現在、次のいずれかの病気で治療を受けていますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	1	100.0%	0	0.0%
Q9-1 治療を受けていますか	有効回答数	0	0.0%	0	0.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q9-2 糖尿病の治療を受けている	有効回答数	0	0.0%	0	0.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q9-3 心臓病の治療を受けている	有効回答数	0	0.0%	0	0.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q10 家族や周囲の人々は、日頃歯の健康に関心がありますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	1	100.0%	0	0.0%
	どちらともいえない	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q11 自分の歯には自信があったり、人からほめられたことがありますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	どちらともいえない	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q12 普段、職場や外出先でも歯を磨きますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	毎回	0	0.0%	0	0.0%
	時々	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	1	100.0%	0	0.0%
Q13 間食（甘い食べ物や飲み物）をしますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	毎回	0	0.0%	0	0.0%
	時々	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%

口腔保健質問紙調査項目		第一回調査 人数	第一回調査 %	第二回調査 人数	第二回調査 %
Q14 たばこを吸っていますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q15 朝、寝る前に歯をみがきますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	毎日	0	0.0%	0	0.0%
	時々	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q16 フッ素入り歯磨剤（ハミガキ）使っていますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
	わからない	1	100.0%	0	0.0%
Q17 歯間ブラシまたはフロスを使っていますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	毎日	0	0.0%	0	0.0%
	時々	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q18 ゆっくりよく噛んで食事をしますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	毎日	1	100.0%	0	0.0%
	時々	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q19 歯科医院等で歯みがき指導を受けたことはありますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	1	100.0%	0	0.0%
Q20 年に1回以上は歯科医院で定期健診を受けていますか	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	はい	1	100.0%	0	0.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q21 保健指導はどこで受けていますか	有効回答数	－	－	0	0.0%
	はい	－	－	0	0.0%
	いいえ	－	－	0	0.0%
唾液検査結果	有効回答数	0	0.0%	0	0.0%
	陽性	0	0.0%	0	0.0%
	陰性	0	0.0%	0	0.0%
保健指導実施者	有効回答数	0	0.0%	0	0.0%
	歯科医師	0	0.0%	0	0.0%
	歯科衛生士	0	0.0%	0	0.0%
	保健師	0	0.0%	0	0.0%
	管理栄養士・栄養士	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%
類型化	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	知識提供・気づき支援型	1	100.0%	0	0.0%
	相談・カウンセリング型	1	100.0%	0	0.0%
	環境・受け皿整備型	1	100.0%	0	0.0%
	実技指導型	1	100.0%	0	0.0%
	歯科受診勧奨	0	0.0%	0	0.0%
類型化最大値	有効回答数	1	100.0%	0	0.0%
	知識提供・気づき支援型	0	0.0%	0	0.0%
	相談・カウンセリング型	0	0.0%	0	0.0%
	環境・受け皿整備型	0	0.0%	0	0.0%
	実技指導型	1	100.0%	0	0.0%
	歯科受診勧奨	0	0.0%	0	0.0%

２）歯科健診受診後アンケートの全体集計

歯科健診受診後アンケートの全体集計を実施します。集計結果の見本は下表の通りです。

歯科健診受診後アンケートの集計結果（全体）

2014年12月12日

Q１ 歯科健診を受けていかがでしたか？

	合計	非常に満足した	満足した	どちらともいえない	不満だった	非常に不満だった
回答数	1	1	0	0	0	0
割合	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q２ 保健指導やアドバイスはいかがでしたか？

	合計	非常に満足した	満足した	どちらともいえない	不満だった	非常に不満だった
回答数	1	1	0	0	0	0
割合	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q３ 具体的に何か実行しようと思いましたか？

	合計	強く思った	思った	どちらともいえない	あまり思わなかった	全く思わなかった
回答数	1	0	1	0	0	0
割合	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q４ 歯科医師の説明は理解できましたか？

	合計	よく理解できた	ほぼ理解できた	どちらともいえない	あまりわからなかった	全くわからなかった
回答数	1	0	1	0	0	0
割合	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q５ 歯科衛生士の説明は理解できましたか？

	合計	よく理解できた	ほぼ理解できた	どちらともいえない	あまりわからなかった	全くわからなかった
回答数	1	1	0	0	0	0
割合	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q６ 歯科医院への受診をすすめられた方へ【回答者ベース】
①受診をすすめられたのは、自分でも気が付いていて予想していたことでしたか？

	合計	予想していた	意外だった
回答数	1	1	0
割合	100.0%	100.0%	0.0%

②健診の後、歯科医院を受診しましたか？

	合計	受診した	受診出来なかった
回答数	0	0	0
割合	0.0%	0.0%	0.0%

Q７ 今回の健診に、唾液検査はありましたか？

	合計	あった	なかった
回答数	1	1	0
割合	100.0%	100.0%	0.0%

Q８ 唾液検査があるほうが、歯科受診に対する動機づけが高まると思いますか？

	合計	高まる	変わらない	どちらともいえない
回答数	1	1	0	0
割合	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%

3）自己評価の一覧

保健行動目標・自己評価票の一覧を表示します。一覧表の見本は下表の通りです。

ユーザID	教室	1回目の歯科健診受診後の口腔保健行動目標（記載内容）	歯科健診受診後のフォローアップ（複数回答）					1回目の達成度	2回目の歯科健診受診後の口腔保健行動目標（記載内容）	2回目の達成度
			1.リーフレット・パンフレット	2.健康学習教室	3.通信指導	4.歯科医院での健康学習	5.その他	1.ほとんど毎日 2.週2～3回 3.ほとんどできなかった 4.全くできなかった		1.ほとんど毎日 2.週2～3回 3.ほとんどできなかった 4.全くできなかった
111122	目標1	間食を控える	○	○				2	間食をしない	3
	目標2	たばこを控える						1		
	目標3									

4）口腔診査の全体集計

口腔診査票の集計結果（全体）を実施します。集計結果の見本は下表の通りです。

口腔診査票の集計結果（全体）

2014年08月01日

歯科健診項目			第一回検診		第二回検診	
			人数	%	人数	%
属性	性別	受診者数	6	100.0%	0	0.0%
		男	1	16.7%	0	0.0%
		女	1	16.7%	0	0.0%
	年齢	有効人数	2	--	0	--
		平均値	39.0	--	0.0	--
		標準偏差	9.0	--	0.0	--
歯の状況	健全歯数	有効人数	6	--	0	--
		平均値	13.0	--	0.0	--
		標準偏差	4.2	--	0.0	--
	未処置歯数	有効人数	6	--	0	--
		平均値	5.2	--	0.0	--
		標準偏差	3.7	--	0.0	--
	処置歯数	有効人数	6	--	0	--
		平均値	6.5	--	0.0	--
		標準偏差	2.6	--	0.0	--
	喪失歯数	有効人数	6	--	0	--
		平均値	24.7	--	0.0	--
		標準偏差	4.3	--	0.0	--
	要補綴歯数	有効人数	6	--	0	--
		平均値	2.8	--	0.0	--
		標準偏差	2.7	--	0.0	--
	欠損補綴歯数	有効人数	6	--	0	--
		平均値	2.2	--	0.0	--
		標準偏差	2.3	--	0.0	--
歯周組織の状況	CPI最大コード分布	受診者数	6		0	
		診査分歯数	4	66.7%	0	0.0%
		コードF0：健全	0	0.0%	0	0.0%
		コードF1：プローピング後の出血	1	25.0%	0	0.0%
		コードF2：歯石沈着	1	25.0%	0	0.0%
		コードF3：浅いポケット（4～5mm）	1	25.0%	0	0.0%
		コードF4：深いポケット（6mm以上）	1	25.0%	0	0.0%
		コードx：診査対象外	0	0.0%	0	0.0%
	コードF0：健全	平均値	1.8	--	0.0	--
	コードF1：プローピング後の出血	平均値	1.0	--	0.0	--
	コードF2：歯石沈着	平均値	0.5	--	0.0	--
	コードF3：浅いポケット（4～5mm）	平均値	0.3	--	0.0	--
	コードF4：深いポケット（6mm以上）	平均値	0.3	--	0.0	--
	コードx：診査対象外	平均値	0.0	--	0.0	--
	出血部位数	有効人数	4	--	0	--
		診査分歯数	9	--	0	--
		平均値	1.5	--	0.0	--
		標準偏差	1.4	--	0.0	--
口腔清掃状態		受診者数	5	83.3%	0	0.0%
		良好	3	60.0%	0	0.0%
		普通	1	20.0%	0	0.0%
		不良	1	20.0%	0	0.0%
その他の所見		受診者数	5	83.3%	0	0.0%
		なし	3	60.0%	0	0.0%
		あり	2	40.0%	0	0.0%
所見内容（複数回答）【その他の所見で「あり」の者】		受診者数	2	33.3%	0	0.0%
		歯（現状欠損等）	2	100.0%	0	0.0%
		歯列咬合	1	50.0%	0	0.0%
		顎関節	2	100.0%	0	0.0%
		粘膜	1	50.0%	0	0.0%
唾液検査		受診者数	4	66.7%	0	0.0%
		陰性	3	75.0%	0	0.0%
		陽性	1	25.0%	0	0.0%
噛むカムチェック	1回目（30回）	受診者数	4	66.7%	0	0.0%
		もっとよく噛みましょう	3	75.0%	0	0.0%
		よく噛みましょう	0	0.0%	0	0.0%
		よく噛めています	1	25.0%	0	0.0%
	2回目（60回）	受診者数	4	66.7%	0	0.0%
		もっとよく噛みましょう	0	0.0%	0	0.0%
		よく噛みましょう	3	75.0%	0	0.0%
		よく噛めています	1	25.0%	0	0.0%

５）口腔保健質問紙調査出力データ（管理用）の一覧表

口腔保健質問紙調査出力データ（管理用）の一覧表を表示します。一覧表の見本は下表の通りです。

ユーザID	氏名	年齢	性別	口腔保健質問紙調査（初回）								口腔保健質問紙調査（２回目）							
				「歯の健康力」判定結果				類型化				「歯の健康力」判定結果				類型化			
				口腔機能・摂ひごと・QOL	自覚症状	日常の行動	両面の環境	相談・カウンセリング型	環境・受け皿整備型	実技指導型	歯科受診動員	口腔機能・摂ひごと・QOL	自覚症状	日常の行動	両面の環境	相談・カウンセリング型	環境・受け皿整備型	実技指導型	歯科受診動員
		不明	不明	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		不明	不明	0	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	0
1234	日本 太郎	63	男性	2	2	0	0	1	0	0	0	2	1	2	2	1	1	1	1
		不明	不明	2	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
12345678	日本 一子	27	女性	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
111122	日本 一郎	30	男性	2	2	2	2	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
		不明	不明	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		不明	不明	0	2	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

１１．名簿のインポート

名簿のインポートは、他の端末（パソコン・タブレット）で登録してある個人情報データを取り込む作業となります。

本システムは、インターネットを利用して入力データをサーバに蓄積することにより、複数台の端末（パソコン・タブレット）にてデータの入力、処理等が可能となっております。但し、受診者の個人情報データだけは、サーバに蓄積しない方針で作成しております。よって、受診者の個人情報のデータは、各端末に保存されたものしかございません。１台のＰＣやタブレットで処理する場合は問題ございませんが、同じ日に複数台で調査することになると、受診者の個人情報のデータは、それぞれの端末で保管されることになります。その個人情報のデータを統一するために名簿のインポート処理を実施してください。

複数台の端末を利用して調査を実施する場合は、１台のパソコンを本システム管理用として設置してください。複数台の端末からエクスポートしたデータを管理用のパソコンにインポートして、全ての個人情報データを管理してください。

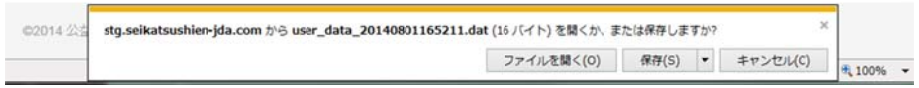
他の端末（パソコン・タブレット）でエクスポートしたデータを参照ボタンから選択して「インポート」ボタンを押下してください。個人情報が表示されます。

１２．名簿のエクスポート

名簿のエクスポートは、管理用のパソコンに個人情報データを登録するために個人情報データを出力する作業となります。

パソコンで登録した個人情報をエクスポートする際は、「パソコン用エクスポート」ボタンを押下してください。

パソコン画面下段に以下のメッセージが表示されます。「保存」を選択してファイルを任意のフォルダに保存してください。



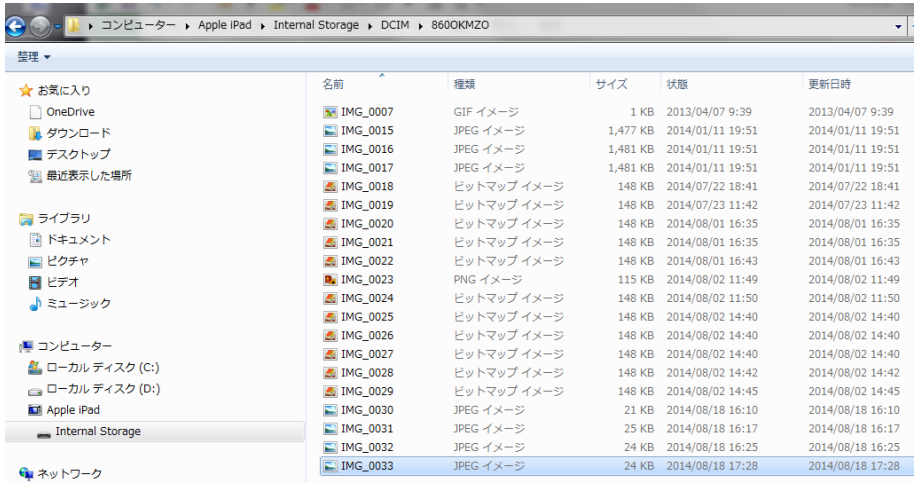
タブレットで登録した個人情報をエクスポートする際は、「タブレット用エクスポート」ボタンを押下してください。

画面が切り替わり、「右クリックで下の画像を全て保存してください。画像は合計１件あります。」と表示されます。タブレットの場合は、下記のＱＲコードを長押しすることにより、「画像を保存」と「コピー」が選択できるようになりますので、「画像を保存」を選択してください。「画像を保存」が終わりましたら「閉じる」ボタンを押下して、下記の画面を閉じてください。

１３．タブレットでエクスポートした個人情報データを管理用パソコンへ移行

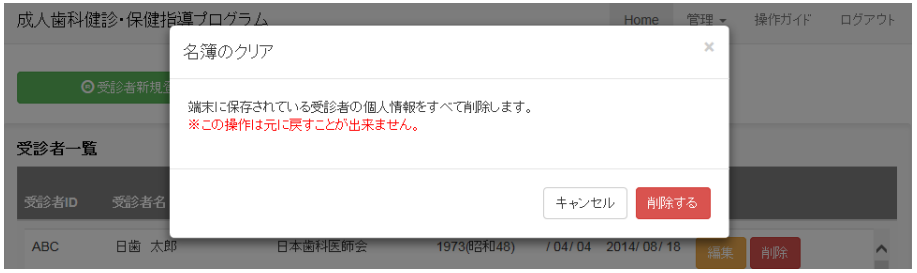
タブレットでエクスポートしたデータは、JPEG ファイルとして保存されます。エクスポートした日付と時間は把握しておいてください。インポートする際、ファイルを選択する時に役立ちます。タブレットを USB にてパソコンに接続すると下記画面のようなフォルダ、ファイル構成となっております。

エクスポートしたデータファイルを日時等で確認して、インポート処理を実施してください。インポートの処理方法は、「１１．名簿のインポート」をご参照ください。



１４．名簿のクリア

端末に登録してある名簿（個人情報データ）の削除を実施します。タブレット等の端末に個人情報を残しておきたくない場合にご利用ください。削除した場合は元に戻せませんので、名簿（個人情報データ）を削除しても良いかを確認してから実行してください。なお、「名簿のエクスポート」で保存された JPEG ファイルを削除したい場合は、各端末の管理者が任意で削除してください。



１５．全データのエクスポート

登録済みの全ての受診者データをＣＳＶファイルにてエクスポートします。独自で集計を実施する際に役立ちますのでご利用ください。

「全データのエクスポート」を選択した後、「出力」ボタンを押下すると下記のメッセージが表示されます。「ファイルを開く」を選択するとＥｘｃｅｌが起動してＣＳＶファイルを開きます。ファイルを保存する場合は、Ｅｘｃｅｌ上からファイルを保存してください。

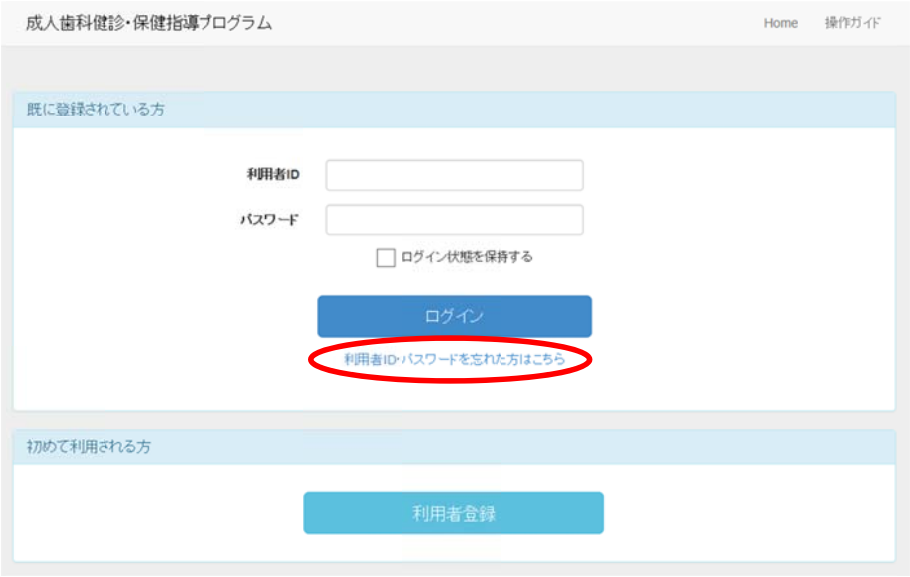
「保存」ボタンを選択した場合は、保存先を選択した後、ＣＳＶファイルを保存してください。

１６．ログアウト

ログイン状態を解放します。ログアウトを実行すると初期画面に戻ります。

１７．利用者ＩＤ・パスワードを忘れた場合

利用者ＩＤ、およびパスワードを忘れてログインできない場合は、初期画面の「利用者ＩＤ・パスワードを忘れた方はこちら」を押下してください。



初回に登録したメールアドレスと氏名（姓・名）を入力して、「送信」ボタンを押下してください。指定されたメールアドレスに対して利用者ＩＤと仮パスワードを発行した通知が届きます。その利用者ＩＤとパスワードを利用してログインしてください。

2. プログラムの実施手順

以下にプログラムの実施手順等について記載します。

前述の通り、生活歯援プログラムは受診者個々の口腔内を診査して、う蝕や歯周疾患に罹患している個所を発見し、指摘することが目的ではありません。そのような疾患をもたらす生活習慣を是正して、行動変容を促すことをその目的としています。

なお、プログラムの実施手順に関する資料については「4.プログラムの実施に関する資料集」に一覧として掲載しておりますのでご活用ください。

1）事業の企画立案

プログラムを実施する際の目的や事業内容、日程（タイムスケジュール）、プログラム実施に係る実施形態、出張健診の場合のスタッフ数、あるいはプログラムに参加する歯科診療所（医院対応の場合）の記載、概算諸経費用等、健診依頼先との実施概要に関する協議内容について記録して下さい。なお、記載用の様式を掲載しておりますのでご活用ください。

【資料－1】

プログラム活用事業実施概要記載様式

・事業名
・事業の目的
・実施日程
・実施組織・実施形態
・概算諸経費用等
・実施概要の協議内容

2）関係機関との調整・周知（事前研修会説明会含む）

本プログラムを実施する際は、健診依頼先にまずプログラムの目的や手順等の実施概要についての説明をしていただき、健診依頼先との認識の一致を図るための、十分な打ち合わせが必要です。

【資料－2】　<u>※目的に応じて自由に改変してください。</u>

①職域における実施プロセスに関するフローチャート（モデル例）
②プログラムへの参加案内文書
③参加者へのプログラム説明用資料（初回）
④参加者へのプログラム説明用資料（2 回目）
⑤生活歯援プログラムに関する Q&A
⑥質問紙票（紙媒体）

3）プログラムの実施

日程に従った実施フローチャートを作成し、参加者に配布する各種媒体ツールを準備します。過去にモデル事業として実施した県でのフローチャート及び準備資料等を掲載しておりますので、作成の際にご活用ください。

また、本プログラムを実施した事業の実施プロセスについても記録します。

記録内容は、各ステップにおける参加者数の推移、類型化された対象者数（全体に占める割合も記載）、事業の実施経過、フォローアップの方法（パターン 1～3 のいずれか）、健診事業の最終評価（プロセス評価、影響、結果評価）等です。

実施に際しての問題点や注意事項等があれば、次回実施の際の参考とするために整理して記録します。記載された内容は、実施報告書に添付の上、健診依頼先に提出されることをお勧めします。

【資料－3】　※目的に応じて自由に改変してください。

プログラム活用事業実施経過記載様式

・事業名
・実施日程
・参加者数の推移及び類型化された対象者数
・事業の実施経過
・フォローアップの方法
・事業の評価

4）事業評価

質問紙票による評価は、本事業に必須であり、Web 版に入力することにより自動計算され、集団の全体集計結果も容易に出力することができます。

またプロセス評価のための、「歯科健診受診後のアンケート」のフォーマット及び、プログラム従事者用アンケート（参考様式）もご活用ください。

【資料－4】　※目的に応じて自由に改変してください。

①口腔保健質問紙調査の集計結果　全体（Web 版ダウンロード資料）
②歯科健診受診後のアンケート（Web 版ダウンロード資料）
③生活歯援プログラム従事者アンケート用紙（参考様式）

3. プログラム実施に必要な人材の育成（研修会の開催）

本プログラムを実施するためには、その考え方を理解した上で実践できる人材の育成が必要となります。日本歯科医師会では、日本歯科衛生士会と連携して、本プログラムにおいて保健指導の中心となる歯科衛生士に対し、平成 23 年度事業として日本歯科衛生士会ブロック研修を全国 5 ヵ所において、平成 24 年度においても北海道・東北ブロックにおいて、本プログラムに関する研修を行いました。

しかし、ブロック研修に参加された方は限られた人数であり、今後、各地域で本プログラムを導入して実施する際の更なる人材の育成をさらに図っていくことが必要です。

そうした状況を鑑み、日本歯科医師会では、本プログラムに関する研修会の実施に必要な資料の整備を行いました。人材育成のための研修会については、本プログラムをより理解するために、ワークショップ形式の研修会が有効であり、各都道府県歯科衛生士会と協働で開催することで、より一層のプログラム活用が期待されます。

なお、人材の育成に関する研修会資料については「4.プログラムの実施に関する資料集」に一覧として掲載しておりますのでご活用ください。

講演に関しては、日本歯科医師会地域保健委員会深井穫博委員長の講義用 DVD（資料－5－②）をご活用ください。実習講師について調整が難しい場合は、日本歯科医師会地域保健課までご連絡ください。

【資料－5】

①生活歯援プログラム DVD（研修会用ダイジェスト版）　※1
②生活歯援プログラム講義用 DVD　※2
③保健指導研修会（ワークショップ形式）の開催例
④ワークシート
⑤ワークシート使用の手引き
⑥シナリオ（押しつけ型の保健指導例）

※1　日本歯科医師会会員の先生で DVD をご覧になりたい方はご所属の郡市区歯科医師会もしくは都道府県歯科医師会にお問い合わせください。
会員以外の方は各都道府県歯科医師会にお問い合わせ頂くか、新潟県歯科保健協会（電話 025-283-0525）にお問い合わせください。

※2　日本歯科医師会会員の先生で DVD をご覧になりたい方はご所属の郡市区歯科医師会もしくは各都道府県歯科医師会にお問い合わせください。
会員以外の方は日本歯科医師会地域保健課（電話 03-3262-9211）にお問い合わせください。

「生活歯援プログラム」活用事業実施概要記載書

①	事業名
②	事業の目的
③	実施日程
④	実施組織
	実施形態 （場所、スタッフ数等）
⑤	概算諸経費用等
⑥	実施概要の協議内容

職域におけるプログラムの実施プロセスに関するフローチャート

実施プロセスに関するフローチャートを標準的な実施例として提示します。実施県の実情やケースに合わせてモディファイし、ご活用ください。

（下記のフローチャートは事業所での一例）

生活歯援プログラム実施依頼

↓

依頼先との打ち合わせ　（実施時期等）

↓

事業参加者の募集

・成人歯科健診のご案内

・質問紙票の配布

↓

質問紙票の記入またはタブレット等での入力　　ステップ１

↓

回収

↓

質問紙票の入力と判定結果票の印刷（類型化の実施）

・対象者の選別

↓

保健指導の実施　　ステップ２

・類型化に基づく保健指導

・対象者への行動目標の設定　　＊ステップ1、2は一日での実施可能

↓

フォローアップ（約 1～3 カ月間）　　ステップ３

（パターン１）

・協力歯科医院でのフォローアップ

（パターン２）

・事業所でのフォローアップ

（パターン３）

・対象者へのメール、FAX あるいは e-ラーニング

↓

質問紙票の記入またはタブレット等での入力　　ステップ４

↓

保健指導の実施　　ステップ５

・最終評価（プロセス評価、影響、結果評価）　＊ステップ4、5は一日での実施可能

↓

実施報告書の作成

成人歯科健診のご案内

口臭が気になったり、歯痛や歯肉が腫れたりして好きな食べ物が食べられず悩んでいる方はいらっしゃいませんか？

ご承知のように、お口の中の状態は全身的な健康状態と密接な関連を持っています。

この度、〇〇歯科医師会では、従来の歯科健診だけでなく、健診後のフォローアップや健康教育までを含めた「生活歯援プログラム」を作成いたしました。

是非、この機会に皆様方のお口の健康管理にお役立て下さい。

「生活歯援プログラム」とは？

日本歯科医師会が作成した新しいコンセプトに基づく成人歯科健診プログラムです。

その特徴は、

1. 健診だけでなく、その後のフォローアップや研修教育まで盛り込んだプログラムです。
2. 日本歯科医師会が進めている、生活習慣の是正を目的とする保健指導が事業の中心となり、歯科医師による口腔内診査は原則として含まれません。
3. 質問紙票判定結果からお口の状況を把握し、受診者の方々を5段階に分けます。そして各段階に適した指導を行うため、効率的に指導を行うことができます。

（尚オプション検査として、唾液検査や咀嚼力判定テスト等が含まれることもあります）

4. 歯科医師による診査を伴わないため、同時に大勢の方々を対象とすることができます。
5. 健診費用の低減化を図ることができます。

	本事業の大まかな流れ（例）	所要時間（一人当たり）
4月上旬	質問紙票の記入またはタブレット等での入力 （その他オプション検査の実施も可）	（約5～7分）
	▽	
4月中旬	保健指導	（約20分）
	＊質問紙票記入と保健指導は一日で実施可能	
	▽	
6月～8月	フォローアップ	（約10～15分）
	▽	
9月上旬	質問紙票の記入またはタブレット等での入力 （その他オプション検査の実施も可）	（約5～7分）
	▽	
9月中旬	評価・保健指導	（約20分）
	＊質問紙票記入と評価・保健指導は一日で実施可能	

上記内容は実施例です。最初の質問紙票調査開始から、最終ステップまで約 3 か月から 6 か月の期間を必要とします。

○○産業（株）歯科健診を受けられる皆様へ

この歯科健診の目的について

このたびは、○○産業（株）歯科健康診査にご参加いただき、ありがとうございます。

さて、この健診は今まで皆様が経験された歯科健診とは少し異なりますのでご説明させていただきます。

従来の健診は、悪くなった場所を早期に発見し、早期に治療することを目的とするものでした。

しかし、**現在の健診に対する考え方は、今述べたような疾患を発見する健診から一歩進んで、悪くなる原因を調査し、それを取り除くことによって健康を保つという、いわゆる一次予防と呼ばれるものに変わってきています。**

その一例がよくお聞きになる特定健診・特定保健指導制度です。

歯科医師会ではそのような考え方に立脚した新しい歯科健診システム（通称：生活歯援プログラム）を構築し、皆様のお口の健康管理にお役立てさせていただきたいと考えております。

原則として歯科医師による口腔内診査は含まれておりませんが、それに代わるものとして、質問紙調査票を実施致します。皆様の口腔内状態をより正確に把握するためのものですので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

成人歯科健診プログラムの実施内容

(1)　大まかな流れ

健診では、最初に質問紙票調査を受けていただく必要があります。

1）口腔保健質問紙票調査（初回）（全員）

※その他オプション検査として、唾液検査や咀嚼力判定ガム等を用いた口腔機能検査を行う場合があります。

注 1）質問紙票は検査会場にてご記入いただきます。

2）保健指導

質問紙票調査の判定結果に基づき、皆様方に保健指導を行います。従ってお口の中の状況により、指導内容やその後の参加プログラムの内容も異なってまいります。詳しくは下記をご参照ください。

①実施内容

ア）口腔内状況の確認

イ）質問紙票判定結果の説明

ウ）保健指導の実施

エ）口腔保健行動目標の設定（保健指導の必要性のある方が対象）

②参加プログラムについて

上述の通り、質問紙票調査の判定結果により、以下の 3 段階に分かれます。

ア）「特に問題のない」方は、保健指導（簡単な口腔保健指導）と最後の保健指導にご参加をお願いします。

イ）「保健指導の必要性が中程度」の方は、保健指導（詳細な口腔保健指導）、事後の質問紙票調査、最後の保健指導にご参加をお願いします。

ウ）「保健指導の必要性が高い」方は、全てのプログラムに参加いただくこととなります。

エ）フォローアップは、個人行動目標の中間評価や保健指導を、１か月に１回程度継続して行います。対象となる方々は、「保健指導の必要性が中程度～高い」に類別された方々です。

但しフォローアップの実施については、メールやＦＡＸあるいはｅ－ラーニングでも可能です。フォローアップ実施方法の詳細は、健診実施担当者とご相談ください。

尚、ご参加いただくプログラムについては、各個人によって違いますので、最初の保健指導時にお伝えいたします。

3）口腔保健質問紙票調査（2 回目）（全員）

調査項目は最初の質問紙票調査と同じです。

4）保健指導

最初の判定結果をベースラインとして、どの程度改善されたかを確認します。

※尚、保健指導後に簡単なアンケートにご協力くださるようお願いいたします。

(2) 確認事項について

1）開始時間及び所要時間

①質問紙票調査

・所要時間は、

約 3～4 分程度を予定しています。

・1 日当たり約○○名の方の調査を予定しております。時間指定制ではありませんが、お待ちいただく時間を極力少なくするため、あらかじめ都合の良いお時間等をご確認いただくようお願いいたします。

②保健指導

・所要時間は

結果説明を含む保健指導は約 15 分

行動目標設定は約 5 分程度

・保健指導は、お仕事に差し支えがないように **20 分間隔での時間指定による予約制**とさせていただきます。上記指定日で、○○時～○○時までの間でご都合の良い時間をご予約ください。

③フォローアップ（面談方式による場合）

・所要時間は約 10 分～15 分　を予定しています。

・保健指導時と同じく、お仕事の差し支えがないように **15 分間隔での時間指定による予約制**とさせていただきます。

2）注意事項

指定時間の変更について

会議や出張等によってご指定の時間に検査等が受けられなくなった場合は担当者までお早めにお申し出いただき、予約時間をご変更くださるようお願いいたします。

参加者各位

○○歯科医師会

口腔保健質問紙票調査（2 回目）のご案内

○○産業(株)歯科健康診査にご参加いただき、誠にありがとうございます。最初にご案内させていただいたとおり、この健診は原則として歯科医師による口腔内診査を含まない代わりに、質問紙票調査結果に基づく保健指導がその中心となっており、更に指導後のフォローアップ、最終評価までを含むプログラムとなっております。従いまして従来の健診に比較して、ご参加いただく回数が多くなっておりますことをどうぞご了承下さい。

さて下記の日程の通り、口腔保健質問紙票調査（2 回目）を実施いたします。今回の調査は、○月に行いました口腔保健質問紙票調査（初回）とほぼ同じ内容で実施されます。具体的には標準的な質問紙票を用いたアンケート調査です。（尚オプション検査として、唾液検査や咀嚼力判定ガム等による口腔機能検査を含むことがあります。）

ご参加いただく方々は、初回調査時のデータと比較する為、口腔内の状態に関わらず、参加者全員とさせていただきます。ご多忙中とは存じますが、宜しくお願い申し上げます。

記

日時：平成○○年○月○○日（　）
○○時～○○時
所要時間は前回とほぼ同様を予定しております。

(追記)
2 回目調査の後、その結果に基づき、最後のプログラムである保健指導が実施されます。実施日は○月○日を予定しており、前回と同じく予約制とさせていただきます。詳細については後日連絡させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

以上

新しい成人歯科健診プログラム（生活歯援プログラム）に関するＱ＆Ａ

Ｑ１．この健診は従来の健診とどう違うのですか？

（答え）従来の歯科健診は、歯科医師がお口の中を見て、むし歯や歯周病に罹患している部位を発見することを目的としていました。しかし、今の健診の考え方は、それから一歩進んで病気になるリスクを発見し、そのリスクを排除するというように変わってきています。この健診もそうした考え方に則って設計されており、したがってお口の中を診ることより、生活習慣を是正するための保健指導が中心となります。

Ｑ２．歯科医師が口の中を診ないで、私の口の中の状態がわかるのですか？

（答え）今回の健診では日本歯科医師会が作成した「生活歯援プログラム」を使います。
このプログラムでは、標準的な質問紙票と呼ばれる問診票結果をＰＣに入力し、導き出された結果に基づいて保健指導を実施します。いわば質問紙票結果が歯科医師の目の代わりをすることになるのです。そのためには正しいデータ入力が必要となりますので、質問紙票にはなるべく正確にお書きいただくようお願い致します。

Ｑ３．ご案内に書かれていた大まかな流れをみると参加プログラムがたくさんありそうですが、全部参加しなければならないのですか？

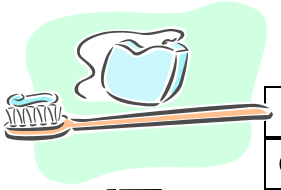
（答え）**お口の中の状況によって異なります。**
○月に実施する質問紙票調査は必ずご参加下さい。この検査結果により、参加された方々を口腔内の状況に応じて３段階に類別します。（尚、オプション検査として、唾液検査や咀嚼力判定ガム等が含まれることがあります。）
①その結果、特に問題のない方は、○月の保健指導（**簡単な保健指導**）、○月の保健指導にご参加いただくこととなります。
②次いで保健指導の必要性が中程度の方は、○月の保健指導（**詳細な保健指導：行動目標の設定**）、○月の質問紙票調査、○月の保健指導に参加いただくこととなります。
③更に保健指導の必要性が高い方は、全てのプログラムに参加いただくこととなります。

Ｑ４．検査日であれば、いつでも受けられるのですか？

（答え）質問紙票調査は検査日の決まった時間であれば、いつでも結構です。
しかし、**歯科健診及び保健指導はお仕事に差し支えることがないよう、時間指定による予約制**とさせていただきます。どうぞご了承ください。

Ｑ５．会議が入り、予約の時間に行けなくなった場合はどうすればよいですか？

（答え）ご都合が悪い場合は、担当者まで早めにお申し出いただき、予約時間をご変更ください。



標準的な成人歯科健診質問紙票

表面

★この質問紙は、歯科疾患や保健行動のリスクを把握して、必要と考えられる保健指導を把握するための質問紙になります。
１～２０の質問で、当てはまる項目に○をつけてください。

	０点	１点
Q1 現在、ご自分の歯や口の状態で気になることはありますか	2．いいえ	1．はい
Q1-2　Q1 で「はい」の場合、該当するもの**全てに**○をつけてください：1.噛み具合、2.外観、3.発話、4.口臭、5.痛み、6.その他		
Q2 ご自分の歯は何本ありますか （かぶせた歯（金歯・銀歯）、さし歯、根だけ残っている歯も本数に含めます）　⇒本数もご記入ください（　　）本	2．20 本以上	1．19 本以下
Q3 自分の歯または入れ歯で左右の奥歯をしっかりとかみしめられますか	1．左右両方かめる	2．片方・3．両方かめない
Q4 歯をみがくと血がでますか	3．いいえ	2．時々・1．いつも
Q5 歯ぐきが腫れてブヨブヨしますか	3．いいえ	2．時々・1．いつも
Q6 冷たいものや熱いものが歯にしみますか	3．いいえ	2．時々・1．いつも
Q7 かかりつけの歯科医院がありますか	1．はい	2．いいえ
Q8 仕事が忙しかったり休めず、なかなか歯科医院に行けないことがありますか	2．いいえ	1．はい
Q9 現在、次のいずれかの病気で治療を受けていますか ⇒該当するもの**全てに**○をつけてください：1.糖尿病、2.脳卒中、3.心臓病	2．いいえ	1．はい
Q１０ 家族や周囲の人々は、日頃歯の健康に関心がありますか	1．はい	2．どちらともいえない・3．いいえ
Q１１ 自分の歯には自信があったり、人からほめられたことがありますか	1．はい	2．どちらともいえない・3．いいえ
Q１２ 普段、職場や外出先でも歯を磨きますか	1．毎回	2．時々・3．いいえ
Q１３ 間食（甘い食べ物や飲み物）をしますか	3．いいえ	2．時々・1．毎日
Q１４ たばこを吸っていますか	2．いいえ	1．はい
Q１５ 夜、寝る前に歯をみがきますか	1．毎日	2．時々・3．いいえ
Q１６ フッ素入り歯磨剤（ハミガキ）を使っていますか	1．はい	2．いいえ・3．わからない
Q１７ 歯間ブラシまたはフロスを使っていますか	1．毎日	2．時々・3．いいえ
Q１８ ゆっくりよく噛んで食事をしますか	1．毎日	2．時々・3．いいえ
Q１９ 歯科医院等で歯みがき指導を受けたことはありますか	1．はい	2．いいえ
Q２０ 年に１回以上は歯科医院で定期健診を受けていますか	1．はい	2．いいえ

判定時には、この点線で折り曲げてください

お名前　ふりがな	
性別（　男性　・　女性　）	年齢　　歳
生年月日 M T S　　年　　月　　日 H	
住所　〒	
記載年月日 平成　　年　　月　　日	受付番号＊

裏面

★あなたの支援タイプ（複数可）は・・・
□1.「知識提供・気づき支援型」　□2.「相談・カウンセリング型」
□3.「環境・受け皿支援型」　□4.「実技指導型」
□5.「受診勧奨型」　です。

★質問紙票の合計点は、＿＿＿＿＿点です。

A. 「QOL、歯口の状態・機能」質問群

Q1～Q6 で合計２点以上
「知識提供・気づき支援型」
＋「相談・カウンセリング型」

B.「支援的環境」質問群

Q7～Q12 で合計３点以上
「知識提供・気づき支援型」
＋「相談・カウンセリング型」
＋「環境・受け皿支援型」

C. 「保健行動」質問群

Q１３～Q２０で合計３点以上
「知識提供・気づき支援型」
＋「相談・カウンセリング型」
＋「実技指導型」

・　　塗りつぶし枠合計５点以上:「受診勧奨型」
（全てのタイプの保健指導を実施）
・いずれにも該当しない場合:「知識提供・気づき支援型」

「生活歯援プログラム」活用事業実施経過記載書

①	事業名	
②	実施日程	
③	参加者数の推移 類型化された対象者数	
④	事業の実施経過 ※実際に行われた事業の大まかな流れ、実施日、実施内容等について記入ください。	
⑤	フォローアップの方法 ※どのような方法でフォローアップを実施したかお書きください。	
⑥	事業の評価について ※影響評価、プロセス評価の観点から事業の評価をお書きください。また事業実施に関するご感想等でも構いません。	

口腔保健質問紙調査の集計結果（全体）

2014年11月04日

口腔保健質問紙調査項目		第一回調査		第二回調査	
		人数	%	人数	%
性別	受診者数	10	100.0%	10	100.0%
	男	10	100.0%	10	100.0%
	女	0	0.0%	0	0.0%
	不明	0	0.0%	0	0.0%
年齢	有効回答数	10	－	10	－
	平均値	52.8	－	52.8	－
	標準偏差	31.1	－	31.1	－
Q1 現在、ご自分の歯や口の状態で気になることはありますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	はい	5	50.0%	1	10.0%
	いいえ	5	50.0%	9	90.0%
Q1-1 噛み具合が気になる	有効回答数	5	50.0%	1	10.0%
	はい	5	100.0%	1	100.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q1-2 外観が気になる	有効回答数	5	50.0%	1	10.0%
	はい	1	20.0%	1	100.0%
	いいえ	4	80.0%	0	0.0%
Q1-3 発話が気になる	有効回答数	5	50.0%	1	10.0%
	はい	4	80.0%	1	100.0%
	いいえ	1	20.0%	0	0.0%
Q1-4 口臭が気になる	有効回答数	5	50.0%	1	10.0%
	はい	1	20.0%	1	100.0%
	いいえ	4	80.0%	0	0.0%
Q1-5 痛みが気になる	有効回答数	5	50.0%	1	10.0%
	はい	5	100.0%	1	100.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q1-6 その他	有効回答数	5	50.0%	1	10.0%
	はい	0	0.0%	0	0.0%
	いいえ	5	100.0%	1	100.0%
Q2 ご自分の歯は何本ありますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	19本以下	1	10.0%	1	10.0%
	20本以上	9	90.0%	9	90.0%
Q3 自分の歯または入れ歯で左右の奥歯をしっかりとかみしめられますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	いつも	6	60.0%	8	80.0%
	時々	1	10.0%	2	20.0%
	いいえ	3	30.0%	0	0.0%
Q4 歯をみがくと血がでますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	いつも	4	40.0%	2	20.0%
	時々	5	50.0%	4	40.0%
	いいえ	1	10.0%	4	40.0%
Q5 歯ぐきが腫れてブヨブヨしますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	いつも	3	30.0%	4	40.0%
	時々	5	50.0%	2	20.0%
	いいえ	2	20.0%	4	40.0%
Q6 冷たいものや熱いものが歯にしみますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	いつも	5	50.0%	2	20.0%
	時々	3	30.0%	4	40.0%
	いいえ	2	20.0%	4	40.0%
Q7 かかりつけの歯科医院がありますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	はい	5	50.0%	5	50.0%
	いいえ	5	50.0%	5	50.0%
Q8 仕事が忙しかったり休めず、なかなか歯科医院に行けないことがありますか	有効回答数	10	100.0%	9	90.0%
	はい	5	50.0%	3	33.3%
	いいえ	5	50.0%	6	66.7%
Q9 現在、次のいずれかの病気で治療を受けていますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	はい	2	20.0%	1	10.0%
	いいえ	8	80.0%	9	90.0%
Q9-1 治療を受けていますか	有効回答数	2	20.0%	1	10.0%
	はい	2	100.0%	1	100.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q9-2 脳卒中の治療を受けている	有効回答数	2	20.0%	1	10.0%
	はい	1	50.0%	0	0.0%
	いいえ	1	50.0%	1	100.0%
Q9-3 心臓病の治療を受けている	有効回答数	2	20.0%	1	10.0%
	はい	1	50.0%	0	0.0%
	いいえ	1	50.0%	1	100.0%
Q10 家族や周囲の人々は、日頃歯の健康に関心がありますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	はい	5	50.0%	5	50.0%
	どちらともいえない	4	40.0%	5	50.0%
	いいえ	1	10.0%	0	0.0%
Q11 自分の歯には自信があったり、人からほめられたことがありますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	はい	6	60.0%	6	60.0%
	どちらともいえない	4	40.0%	4	40.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q12 普段、職場や外出先でも歯を磨きますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	毎回	4	40.0%	5	50.0%
	時々	4	40.0%	5	50.0%
	いいえ	2	20.0%	0	0.0%
Q13 間食（甘い食べ物や飲み物）をしますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	毎回	2	20.0%	4	40.0%
	時々	7	70.0%	4	40.0%
	いいえ	1	10.0%	2	20.0%

口腔保健質問紙調査項目		第一回調査		第二回調査	
		人数	%	人数	%
Q14 たばこを吸っていますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	はい	5	50.0%	3	30.0%
	いいえ	5	50.0%	7	70.0%
Q15 夜、寝る前に歯をみがきますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	毎日	3	30.0%	5	50.0%
	時々	7	70.0%	5	50.0%
	いいえ	0	0.0%	0	0.0%
Q16 フッ素入り歯磨剤（ハミガキ）使っていますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	はい	2	20.0%	5	50.0%
	いいえ	4	40.0%	3	30.0%
	わからない	4	40.0%	2	20.0%
Q17 歯間ブラシまたはフロスを使っていますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	毎日	0	0.0%	4	40.0%
	時々	9	90.0%	5	50.0%
	いいえ	1	10.0%	1	10.0%
Q18 ゆっくりよく噛んで食事をしますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	毎日	4	40.0%	4	40.0%
	時々	6	60.0%	5	50.0%
	いいえ	0	0.0%	1	10.0%
Q19 歯科医院等で歯みがき指導を受けたことはありますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	はい	0	0.0%	6	60.0%
	いいえ	10	100.0%	4	40.0%
Q20 年に1回以上は歯科医院で定期健診を受けていますか	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	はい	2	20.0%	5	50.0%
	いいえ	8	80.0%	5	50.0%
Q21 保健指導はどこで受けていますか	有効回答数	－	－	10	100.0%
	はい	－	－	8	80.0%
	いいえ	－	－	0	0.0%
唾液検査結果	有効回答数	2	20.0%	1	10.0%
	陰性	1	50.0%	0	0.0%
	陽性	1	50.0%	1	100.0%
保健指導者職種	有効回答数	2	20.0%	1	10.0%
	歯科医師	1	50.0%	0	0.0%
	歯科衛生士	1	50.0%	0	0.0%
	保健師	0	0.0%	1	100.0%
	管理栄養士・栄養士	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%
類型化	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	知識提供・気づき支援型	10	100.0%	10	100.0%
	相談・カウンセリング型	9	90.0%	6	60.0%
	環境・受け皿整備型	10	100.0%	6	60.0%
	実技指導型	9	90.0%	7	70.0%
	歯科受診勧奨	8	80.0%	5	50.0%
類型化最大値	有効回答数	10	100.0%	10	100.0%
	知識提供・気づき支援型	0	0.0%	2	20.0%
	相談・カウンセリング型	0	0.0%	1	10.0%
	環境・受け皿整備型	0	0.0%	0	0.0%
	実技指導型	2	20.0%	2	20.0%
	歯科受診勧奨	8	80.0%	5	50.0%

歯科健診受診後のアンケート

ID番号		受診日時		受診会場	
氏名		ふりがな			

本日の歯科健診に対するご意見・ご感想をお聞かせください。該当する番号に○をつけてください。

Q1. 歯科健診を受けていかがでしたか？

5．非常に不満だった
1． 非常に満足した
2． 満足した
3． どちらともいえない
4． 不満だった
5． 非常に不満だった

Q2. 保健指導やアドバイスはいかがでしたか？

1． 非常に満足した
2． 満足した
3． どちらともいえない
4． 不満だった
5． 非常に不満だった

Q3. 具体的に何か実行しようと思いましたか？

1． 強く思った
2． 思った
3． どちらともいえない
4． あまり思わなかった
5． 全く思わなかった

Q4. 歯科医師の説明は理解できましたか？

1． よく理解できた
2． ほぼ理解できた
3． どちらともいえない
4． あまりわからなかった
5． 全くわからなかった

Q5. 歯科衛生士の説明は理解できましたか？

1． よく理解できた
2． ほぼ理解できた
3． どちらともいえない
4． あまりわからなかった
5． 全くわからなかった

Q6. 歯科医院への受診をすすめられた方のみ、お答えください。

①受診をすすめられたのは、自分でも気が付いていて予想していたことでしたか？

1． 予想していた
2． 意外だった

②健診の後、歯科医院を受診しましたか？

1． 受診した
2． 受診出来なかった

Q7. 今回の健診に、唾液検査はありましたか？

1． あった
2． なかった

Q8. 唾液検査があるほうが、歯科受診に対する動機づけが高まると思いますか？

1． 高まる
2． 変わらない
3． どちらともいえない

Q9. 現在、本日の歯科健診を受けて感じたことやご意見があればお聞かせください

ご協力ありがとうございました。

備考１	
備考２	
備考３	

生活歯援プログラム従事者アンケート

本事業にご協力頂きありがとうございました。つきましては、今後の参考のため、ご意見をお聞きしたいと思います。下記に記入して頂き、FAX かメールで返信してください。

メール　　FAX

１．初回の歯科保健指導は参加されましたか？　はい　・　いいえ

はいと答えた方にお聞きします。

①　良かった点はどんなところでしたか？（参加者の方の反応、歯科衛生士として感じたことなど）

②　悪かった点はどんなところでしたか？（参加者の声や、歯科衛生士として改善すべき点など）

２．フォローアップに参加されましたか？　はい　・　いいえ

はいと答えた方にお聞きします。

①　良かった点はどんなところでしたか？（参加者の方の反応、歯科衛生士として感じたことなど）

②　悪かった点はどんなところでしたか？（参加者の声や、歯科衛生士として改善すべき点など）

３．最後の歯科保健指導は参加されましたか？　はい　・　いいえ

はいと答えた方にお聞きします。

①　良かった点はどんなところでしたか？（参加者の方の反応、歯科衛生士として感じたことなど）

②　悪かった点はどんなところでしたか？（参加者の声や、歯科衛生士として改善すべき点など）

４．その他（今回の事業についてのほかに、歯科医師会・歯科衛生士会への要望でも結構です。）

ご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

○ ○ ○ ○：保健指導研修会(ワークショップ形式)の開催例

標準的なタイムテーブル例　（３時間３０分）

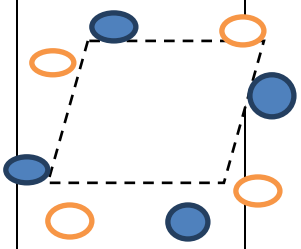
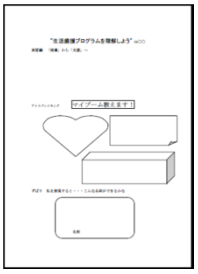
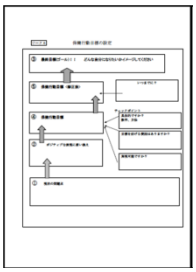
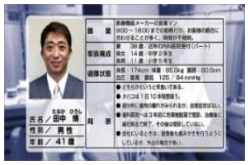
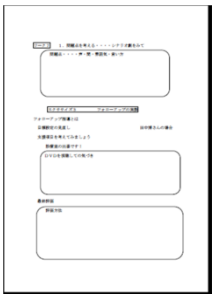
時間	内　　容
10分 60分 10分	開会挨拶 **講演：「生活歯援プログラムの意義、経緯について」** （DVD に収録した講演を放映しても可） DVD（チャプター１）の放映
10分	休憩・机の配置換え等
110分	**実習** １．実習パートⅠ：「指導」から「支援」へ（40 分） ２．実習パートⅡ：行動目標設定までを理解しよう（50 分） DVD（チャプター２）視聴時間を含む ３．実習パートⅢ：フォローアップの実際（20 分） DVD（チャプター３）視聴時間を含む
10分	**まとめ及び質疑応答** ふりかえりシート記入
	閉会

実習例（ワークショップ形式）

より理解を深めながら楽しく事例の検討をするために、4 人～８人の偶数のグループワークが効果的です。（会場の都合や少人数の場合は２人も可）テーブルの角を使い、ＡＢに分かれ、グループで状況設定して、伝える技術と対象者に寄り添う技術を身に着けるための会話術を学びます。

１度でもワークショップを体験した歯科医師・歯科衛生士が中心になり実践してください。

なお、佐藤恵子さん、田中博さんの質問紙票、フェイスシートは　○　○　○の研修会用ダイジェスト版 DVD に入っております。

パート	時間	内　　容	使用媒体
指導から支援へ  机の配置　角に A･B で座りグループを作る	40 【分】	保健指導は「健康を作り出す力を育てる」ことを理解します。 グループの編成をしてグループワークを開始して下さい。 ２人一組から４人・６人・８人一組のグループ編成をします。 ペアは机の角を使って並びます。 Ａ・Ｂに分かれ、聴く力や応える力を学ぶことを目標とします。 （1 ページ） アイスブレイキング（マイブームを中心に自己紹介）をして参加者がリラックスし、グループメンバー同士と知りあいましょう。 （2 ページ） カウンセリング・コーチング技術の模擬体験をします。 弱みを強みに！変える体験をします。 （3 ページ） 質問力をつけるために、開かれた質問と閉ざされた質問の使い分けについて理解しましょう。	
目標設定	50 【分】	佐藤恵子さんの事例の理解 質問票・フェイスシートから対象者の分析をします。 （4 ページ） １．佐藤恵子さんの目標を設定します。 目標を設定するための過程を理解しましょう。 （5 ページ） ２．佐藤恵子さんへの押しつけ型保健指導をシナリオで上演して、問題点の抽出と共有をします。 ３．DVD にて受容型保健指導の視聴をして３の指導と比較します。	
フォローアップ	20 【分】	田中博さんの事例の理解 １．歯科医院でのフォローの実際を確認します。 ２．DVD を視聴し理解を深めます。 ３．まとめ 	

”生活歯援プログラムを理解しよう” in○○

実習編　「指導」から「支援」へ

アイスブレイキング　マイブーム教えます！

ずばり　私を表現すると・・・こんな名刺ができるかな

名前

エクササイズ１　　カウンセリングとコーチング

弱みを強みに変えてみる

聞く・聴く・訊く

コーチング基本スキル・・・・・ＡとＢに分かれます。

ワーク１ ☆Bが、昨日の出来事を(何でも可)Aに話す。

Aの注意事項・・・Bと目を合わさない。無視して何かを書く態度をとる。

感想

ワーク２☆Ａは今できていないことを決めて話す。（例：甘いものがやめられないなど・・・）

Bの注意事項・・・聞きながら、Bは「何で？」「どうして？」を繰り返す。

感想

ワーク３　☆弱みを強みに変えてみる。

Ａ　１．Ｂの短所・・・・・（　　）

２．長所に置き変えて（　　）

Ｂ　１．Ａの短所・・・・・・（　　）

２．長所に置き換えて（　　）

お礼「Ａさんありがとうございます」を！

どのように感じましたか？

ワーク４　☆知りたい情報を収集（質問力を高めるために）

オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンで聴いてみよう！

オープンクエスチョンで（　　）

（　　）

クローズドクエスチョンで（　　）

（　　）

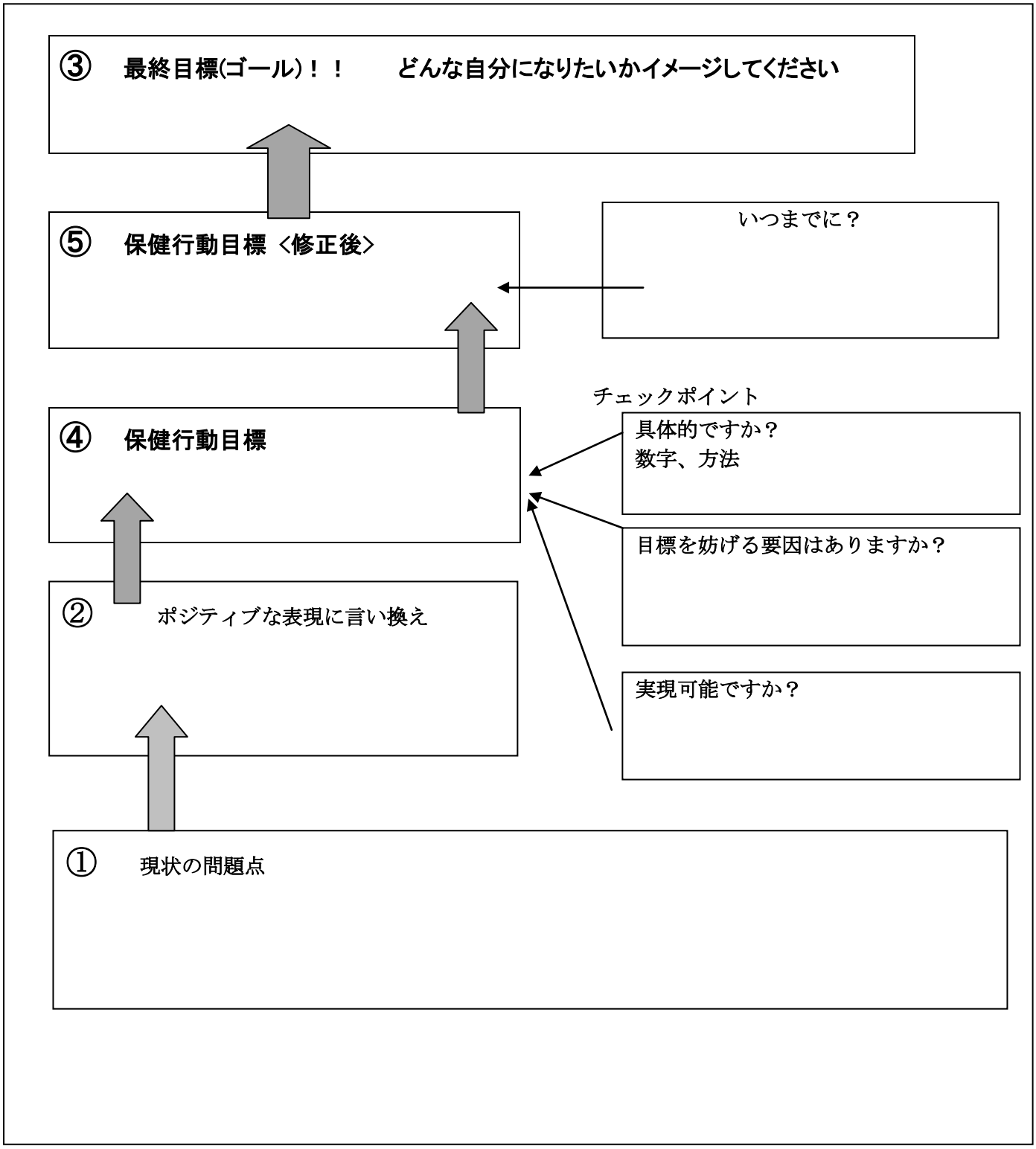
感想

エクササイズ２　事例　　保健指導までの流れ

ワーク５　対象者の把握　　佐藤恵子さんの場合

質問紙票20項目・・・・支援タイプの分類

ワーク６　　保健行動目標の設定



ワーク７　　１．問題点を考える・・・・シナリオ劇をみて

問題点・・・・声・間・雰囲気・言い方

エクササイズ３　　フォローアップの実際

フォローアップ指導とは

目標設定の見直し　　田中博さんの場合

支援項目を考えてみましょう

診療室の出番です！

ＤＶＤを視聴しての気づき

最終評価

評価方法

”生活歯援プログラムを理解しよう” in○○

実習編　　「指導」から「支援」へ

4~8人のグループでプログラムを理解するために・・・
まずはアイスブレイキング！

アイスブレイキング　　マイブーム教えます

参加者の相互理解・・・・
単純な紹介よりその人の背景がわかります。

自分が今熱中していることを３つ考えて自分の名刺を作ります。
その名刺を元に自己紹介をしてください。

エコ生活に

はまっている

山歩きが好き

俳句や和歌を作っている

ずばり　私を表現すると・・・こんな名刺ができるかな

仲間と打ち解けましたか？

例

元気いっぱいの歯科衛生士

大久保紀子

エクササイズ１　　カウンセリングとコーチング

聞く・聴く・訊く

コーチング基本スキル・・・・2人1組になり、じゃんけんＡとＢに分かれます。

ワーク１ ☆Bが、昨日の出来事を(何でも可)Aに話す。

Aの注意事項・・・Bと目を合わさない。無視して何かを書く態度をとる。

聴くために何が必要かを体験する

感想

ワーク２☆Ａは今できていないことを決めてＢに話す。（例：甘いものがやめられない・片付けができないなど・・・）

Bの注意事項・・・聞きながら、Bは「何で？」「どうして？」を繰り返す。

訊く・・・・
責められる体験

感想

ワーク３　☆弱みを強みに変えてみる。

Ａ　１．Ｂの短所を伺います。

２．長所に置き換えてみましょう。

Ｂ　１．Ａに自分の短所を話す。

例）・私は片づけができないのです！

Ｂさんはものを大切にするのですね。

２．短所を長所に置き換えていただいて

お礼「Ａさん有難うございます」を！

ワーク４オープンクエスチョンとクローズドクエスチョンで聴いてみよう！

質問事項　あなたの好きな食べ物？

質問力を高めます。
何をどうきくか！

オープンクエスチョンとは開かれた質問

クローズドクエスチョンとは閉ざされた質問「Ｙｅｓ」「Ｎｏ」で答える質問

注意！保健指導は柔軟な発想が求められます。人を変えるには自分も変わる、見方を変えることを体感してもらう

エクササイズ２　事例１　保健指導までの流れ

ワーク５　対象者の把握

佐藤恵子さんの事例をつかって対象者把握をします。

佐藤恵子さんの場合

質問票20項目・・・・支援タイプの分類

資料参照

佐藤恵子さんのプロフィール　職業・家族構成・生活習慣

質問票からの分析

パソコンの入力か専用用紙を使った分類と分析

ワーク６　　保健行動目標の設定

行動変容を促す上で最も重要な、対象者自身による目標設定を行います。

⑤　実行可能な行動目標を設定する（修正・保健行動目標）

↑

④　そのために何をしたらいいかを考える（保健行動目標）

↑

③　どんな自分になりたいかイメージする（最終目標ゴール）

↑

②　ポジティブな表現に言い換え

↑

①　日常生活における現状の問題点を把握する

ポイント

1.回数や時間等具体的な数値で表現する

2.難しい場合の対処法も考えておく

3.目標を記録として残す

4.今日から実践する

5.実践可能な目標設定をする

6.最終目標を示す

目標設定をしてみましょう

③　最終目標(ゴール)！！　　どんな自分になりたいかイメージしてください

「自慢の口元！」と自信を持って言えるようになる。

⑤　保健行動目標 <修正後>

お菓子は一日に1回、子供たちと一緒に食べる。

入浴時、3分以上かけてじっくり丁寧に歯をみがく

いつまでに？

今日から、1ヵ月後までに

④　保健行動目標

お菓子を控える

歯磨きをきちんと行なう

チェックポイント

具体的ですか？
数字：１日１回、方法：子供たちと一緒に
数字：３分以上、方法：入浴時

目標を妨げる要因はありますか？

お菓子のいただきものが多い

ゆっくりとした時間がとれない

実現可能ですか？

子供たちのおやつは1日1回にしている

お風呂の時間は毎日30分以上とれる

②　ポジティブな表現に言い換え

お口の健康を考えるきっかけができた！！

自分のための時間がつくりだせる！！

スリムな体型にもどせるかも？

①　現状の問題点

甘いものを口にする機会が多くなった。

パート、子育て、家事で毎日が忙しく、時間のゆとりがない。

ワーク７　１．問題点を考える・・・・シナリオ劇をみて（資料　　）

感想

歯科衛生士役、患者役のシナリオ劇を通して気づいたことをグループで討議する。

２．ＤＶＤを視聴して

受容的保健指導と比較してみての感想

エクササイズ３　　フォローアップの実際　ＤＶＤ視聴

フォローアップ指導とは

目標設定の見直し

支援項目を考えて見ましょう

診療室の出番です！

目標の確認と専門的な支援を考えます。

ＤＶＤ田中博さんの場合

DVD視聴しての気づき

最終評価

プロセス評価
影響評価などを考える

シナリオ

F・・ファシリテーター　歯科衛生士

M・・来談者　佐藤恵子さん

F　こんにちは、佐藤さんご苦労様です。

今日は、先日の検査の結果も出ましたので、あなたのお口が健康になるための目標を決めていきたいと思います。

M　よろしくお願いします。それで結果はどうだったのですか？

F　結果は良くないですよ。歯周病が進んでいるかもしれませんね。

M　えっ！歯周病ですか？　あのCMによく出てくるものですか。（かなり深刻そう・・・）

F　ええ、そうですよ。むし歯も出来ている可能性がありますし、糖尿病のリスクも高くなる心配がありますね。

M　え・・そうですか、私、むし歯の治療や歯周病で通院しないといけないのですか？
今仕事が忙しいですが・・・。

F　佐藤さん、大丈夫ですよ。私に任せてください。私の言うとおりにしていただくと、あなたのお口のケアは　きっとうまくできますよ。（自信たっぷりに・・・）ご安心ください。まず甘いものを控えてください。

M　え！甘いものですか？・・・・・・それは無理です。私お菓子屋さんのパートに行っています。店のオーナーに試食して感想を聞かれますし、お店で余ったお菓子をいただくこともあって・・・。

F　やっぱり！
それが原因ですね。かなり甘いものを毎日たくさんとっていることになりますね。
パートのお仕事について、少し考えたほうがいいですね！
甘いものだけではないですよ。歯磨きはできていますか？
ちゃんと磨いていればかなり改善されますので、毎日しっかり磨いてくださいね。

M　ええ分っています。でも子どもたちが小さいので自分の時間が取れなくてなかなか思い通りに行かないですよ。でも、結構気を遣って磨いている方だと思いますが・・・？
時々できない日もありますが・・・。

F　それも大きな要因ですね。下の前歯のところの歯ぐきが腫れています。
磨き残しがある証拠ですね。

佐藤さん、磨いているのと磨けているのは違うんですよ。
歯と歯の間は汚れが残るので、ハブラシだけではなくてデンタルフロスなど他の道具も使ったほうがいいですね。それから磨き残しを少なくするために、カガミを見ながら、時間をかけて磨いてください。

そうそう歯磨きの時間を長くするためには、ながら磨きをするといいですよ。
お風呂の中で磨くとか、テレビを見ながら磨くとか、時間をかけて磨けるように工夫してくださいね。子どもさんがいても自分の手入れはきちんとしないと・・・。

M　はあ・・・。

F　あなた自身の健康のためですよ。
そして、お母さんは子どもさんの良いお手本にならないといけないじゃないですか・・・。

M　えぇ・・・。すみません。

F　大丈夫ですよ！私がついていますから。
これからは私の言う約束をしっかり守ってください。佐藤さんならできますよね？

M　ええ・・・自信ありませんが。

F　歯周病は糖尿病など身体の病気とも深い関係があります。怖いことにならないように今日はこれからの目標を決めて、この用紙に書いてください。

まず、甘いおかしをやめる。そして、歯磨きの徹底。これでどうですか？

M　（しぶしぶ）わかりました。書きます。

F　書いたからには、明日と言わず、今日からやってくださいね。

これからも、しっかりサポートさせていただきますからね。では目標に向けて頑張ってください。次は一ヶ月後にいらしてください。
きっと改善されていますよ！

M　一ヶ月後ですか・・・・・・・・・・　　おわり